

荒川区 指定管理者
平成26年度分 実績評価結果

平成27年9月

目 次

<ul style="list-style-type: none"> ●実績評価の目的及び評価方法について … 3 ●文化施設 <ul style="list-style-type: none"> 荒川区民会館（サンパール荒川） … 5 日暮里サニーホール … 9 荒川区ムーブ町屋 … 13 ●ふれあい館 <ul style="list-style-type: none"> 石浜ふれあい館 … 17 南千住ふれあい館 … 21 南千住駅前ふれあい館 … 25 汐入ふれあい館 … 29 峡田ふれあい館 … 33 荒川山吹ふれあい館 … 37 町屋ふれあい館 … 41 荒木田ふれあい館 … 45 尾久ふれあい館 … 49 西尾久ふれあい館 … 53 東日暮里ふれあい館 … 57 夕やけこやけふれあい館 … 61 西日暮里ふれあい館 … 65 ●生涯学習施設 <ul style="list-style-type: none"> 町屋文化センター … 69 生涯学習センター … 73 清里高原ロッジ／清里高原少年自然の家 … 77 ●社会体育施設 <ul style="list-style-type: none"> 荒川総合スポーツセンター … 81 ●高齢者福祉施設 <ul style="list-style-type: none"> 特別養護老人ホームグリーンハイム荒川 … 85 特別養護老人ホームサンハイム荒川 … 89 特別養護老人ホーム花の木ハイム荒川 … 93 グリーンハイム荒川在宅高齢者通所SC … 97 サンハイム荒川在宅高齢者通所SC … 101 花の木ハイム荒川在宅高齢者通所SC … 105 西日暮里在宅高齢者通所SC … 109 町屋在宅高齢者通所SC … 113 	<ul style="list-style-type: none"> 南千住中部在宅高齢者通所SC … 117 東日暮里在宅高齢者通所SC … 121 荒川東部在宅高齢者通所SC … 125 西尾久西部在宅高齢者通所SC … 129 荒川老人福祉センター … 133 授産場 … 137 ●障がい者施設 <ul style="list-style-type: none"> 荒川福祉作業所 … 141 荒川生活実習所 … 145 尾久生活実習所本所／分場 … 149 障害者福祉会館 … 153 精神障害者地域生活支援センター … 157 障害者グループホーム … 161 ●保育施設 <ul style="list-style-type: none"> 小台橋保育園 … 165 上尾久保育園 … 169 南千住さくら保育園 … 173 汐入とちのき保育園 … 177 はなみずき保育園 … 181 南千住保育園 … 185 南千住七丁目保育園 … 189 夕やけこやけ保育園 … 193 ●自転車等駐車場 <ul style="list-style-type: none"> 南千住駅東口自転車等駐車場 … 197 センターまちや自転車駐車場 … 201 日暮里駅前自転車駐車場 … 205 三河島駅前自転車駐車場 … 209 ●住宅 <ul style="list-style-type: none"> 荒川区営住宅（西尾久七丁目、西尾久三丁目、南千住二丁目、町屋七丁目、町屋五丁目） … 213 荒川区民住宅（西日暮里三丁目、東日暮里六丁目町屋八丁目、町屋五丁目） … 217
--	--

※ 通所サービスセンターを「SC」と記載しています。

実績評価の目的及び評価方法について

1 実績評価の目的

指定管理施設の管理運営の状況等について、実績の評価を行うことにより、継続的な改善を促し、サービス水準の一層の向上を図る。

2 評価方法

(1) 施設種別の設定

施設特性に応じた、より実効性のある、きめ細やかな評価を行うため、次の2種類の施設種別を設定する。

施設種別	施設特性	対象施設
A施設	<ul style="list-style-type: none"> 法令等による施設運営基準の定めがある 人的サービスの比重が大きい 	高齢者福祉施設、障がい者福祉施設、保育施設
B施設	<ul style="list-style-type: none"> サービスや事業内容に関する指定管理者の創意工夫の余地が大きい 	文化施設、ふれあい館、生涯学習施設、社会体育施設、自転車等駐車場、住宅

(2) A施設のサービス面に関する評価項目と評点

- 「法令基準等への適合状況」と「加点点評価項目」の2面から評価する。
- 「法令基準等への適合状況」については、施設の設備、人員配置、運営等に関する法令基準を満たしているかを確認し、1項目でも満たしていなければ「不適合」と判断する。
- 施設特性に応じて「加点点評価項目」を設定し、「極めて良好である」「良好である」「取組が行われていない、または十分でない」の3段階で評価する。

(3) B施設のサービス面に関する評価項目と評点

- 「基本評価項目」と「その他の評価項目」の2面から評価する。
- 「基本評価項目」については、「施設の維持管理」と「区民サービス」の2点について、施設特性に応じて評価の細目及び配点（100点満点）を設定し、5段階評価を行った上で得点を算出する。
- 「その他の評価項目」については、評価対象とする項目及び配点（10点以内）を施設特性に応じて設定し、5段階の評価を行った上で得点を算出する。
- 「基本評価項目（100点）」と「その他の評価項目（10点）」の総合得点（110点満点）を算出し、下表の基準によりS～Dの総合評価を行う。

評価		基準
S	特に優れている	総合得点が100点以上
A	優れている	総合得点が80点以上100点未満
B	適正である	総合得点が60点以上80点未満
C	努力が必要である	総合得点が40点以上60点未満
D	運営に大きな問題がある	総合得点が40点未満

(4) 財務・労務面に関する評価項目と評点（A施設・B施設共通）

- ・ A施設・B施設ともに、財務・労務の状況について、「収支状況・縮減努力」「法人決算」「労務」の状況を確認し、次の基準によりS～Dの評価を行う。

<収支状況・縮減努力>

- S：会計手続及び予算管理が適正であり、経費縮減の努力が行われていた。
- A：会計手続及び予算管理が適正に行われていた。
- B：会計手続及び予算管理等が概ね適正に行われていた。一部に改善の必要があったが、改善された。
- C：改善すべき点が複数見受けられ、努力が必要である
- D：会計手続及び予算管理等に問題があり、改善の見込みがない。

<法人決算>

- S：極めて良好な財務力を有している。
- A：安定的・継続的な運営に当たって適正な財務力を有している。
- B：安定的・継続的な運営に当たって一部改善の必要が見受けられるが、改善の見込みがある。
- C：安定的・継続的な運営に当たって改善すべき点が複数見受けられ、努力が必要である。
- D：安定的・継続的な運営に問題があり、改善の見込みがない。

<労務>

- S：労働環境が良好である。
- A：労働環境が適正である。
- B：労働環境に一部改善の必要が見受けられたが、改善された又は改善の計画がある。
- C：労働環境に改善すべき点が複数見られ、努力が必要である。
- D：労働環境に問題があり、改善の見込みがない。

平成26年度 指定管理者実績評価結果表【B施設】

施設概要		
施設名	名称	荒川区民会館（サンパール荒川）
	所在地	荒川区荒川1-1-1
指定管理者	名称	MKT共同事業体 (構成団体:代表企業:三菱電機ビルテクノサービス(株)、(株)共立、(株)スペースネットワーク)
	所在地	荒川区荒川7-19-1(代表企業所在地)
施設開設年月日		昭和50年3月28日
現在の指定管理者による運営開始年月日		平成18年4月1日
指定期間		平成24年4月1日～平成27年3月31日
業務内容	1 施設及び附帯設備（以下「施設等」という。）の利用に関する業務 2 施設等の利用等の承認、不承認及び利用承認の取消に関する業務 3 施設等の利用料金の收受、減免及び還付に関する業務 4 施設等の維持管理に関する業務 5 公益財団法人荒川区芸術文化振興財団（以下、「ACC」という。）の事業に側面から協力する業務 6 利用者に対する芸術文化活動に関する情報の提供に関する業務 7 前6号のほか、区長が必要と認める業務 <施設の概要> ○大ホール 収容人員1,120席 面積1,162㎡ ○小ホール 収容人員300席（移動席）面積281㎡ ○集会室 第1（洋室）定員32名 面積78㎡ 第2（洋室）定員50名 面積73㎡ 第3（洋室）定員50名 面積85㎡ ※第2・3は通し使用可能 第4（和室）定員40名 面積90㎡ 第5（洋室）定員50名 面積92㎡ 第6（洋室）定員50名 面積99㎡ ※第5・6は通し使用可能 第7（洋室）定員100名 面積184㎡	
平成26年度の事業計画		
1. 管理運営事務 施設の安全管理（日常点検、保守点検）、報告書及び統計資料の作成及び区への報告、意見交換会開催、利用者アンケート集計、情報誌発行、行事案内等 2. 研修 安全管理研修、技術者研修、個人情報の取扱いに関する研修、ビジネスマナー研修等		
平成26年度の事業実績		
1. 上記管理運営事務の実施 2. 利用料金収入 66,485,126円 3. 稼働率 大ホール55.6% 小ホール62.4% 集会室40.5% 4. 利用者数 大ホール148,011人 小ホール60,885人 集会室77,652人		

施設決算状況

年度		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度（予算）
収入	予算	216,088,000	230,983,200	232,820,428	41,425,260
	決算	244,307,832	242,187,700	239,725,125	
支出	予算	216,088,000	230,983,200	232,820,428	41,425,260
	決算	239,002,541	240,281,534	235,941,141	
収支	予算	0	0	0	0
	決算	5,305,291	1,906,166	3,783,984	

（備考）

基本評価項目

評価項目	配点	評価		得点
		レベル	乗率	配点×乗率
施設の維持管理	40			32
① 快適に利用できるための施設管理がなされている	20	4	80%	16
② 業務の遂行に必要な職員が配置されている	10	4	80%	8
③ 研修計画に基づいた職員の受講がなされている	10	4	80%	8
区民サービス	60			48
④ 利用者に対し、満足のあるサービスを提供している	20	3	60%	12
⑤ 利用者の意見を取入れ、改善につなげている	20	4	80%	16
⑥ 事故・苦情の再発防止策を策定し、効果を確認している	20	5	100%	20
合計（A）	100	-	-	80

その他の評価項目				
評価項目	配点	評価		得点
		レベル	乗率	配点×乗率
⑦ 区内事業者を活用している	5	5	100%	5
⑧ 障害者を積極的に雇用している	5	4	80%	4
合 計 (A)	10	-	-	9
評価内容				
⑦区内事業者を活用している	修繕工事では、43件中、専門性の高い25件を除く他の18件全てを区内業者に発注している。消耗品も全て区内業者から購入している。			
⑧障害者を積極的に雇用している	障害者雇用率は2.29%であり、法定雇用率2.0%を超えている。			
改善すべき点等				
合計 (A+B)				89
総合評価				A

財務・労務評価表				
評価項目		評価内容	評価	
収支状況・縮減努力	会計手続が適正である	会計手続きは適正であり、経費の不自然な計上は見受けられない。決算数字は正しく報告されている。	A	A
	予算管理が適正である	対予算比で収支差額は増加しているものの、予算管理は適正である。	A	
	経費縮減の努力が行われている	経費節減により支出額が前年度比較で減少しており、収支差額黒字は前年度に比べ増加した。	A	
法人決算	安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している	決算状況・財務状況より安定的・継続的な運営に必要な財務力を有していると判断する。	A	
労務	労働環境が適正である	法令に準じた運用を行っており、適切な労働環境が維持されている。	A	

総評	
サービス面	<ul style="list-style-type: none"> ・法令を遵守し、適切な施設管理を行うとともに、利用者の要望に対し、誠実に対応している。接遇向上に向けた研修や災害等緊急時の対応に関する訓練・教育も積極的に行っている。 ・地域の文化活動の拠点として文化団体の活動支援をすることで、区の芸術文化の振興に寄与している。
財務・労務面	<p>財務面については、会計手続きや予算管理は適正であり、経費節減の努力も見受けられる。また、指定管理者であるMKT共同事業体各社の財務状態は良好であり、安定的な財務力を有している。</p> <p>労務面では法令に準じた労務管理を行っており、労働環境は適正である。</p>
総合評価	<p>昨年度に引き続き、適切な施設管理が行われており、利用者からの評価も良好であった。財務・労務面についても改善が図られており、良好である。</p> <p>また、27年度の大規模改修に向けて、情報提供や打合せの出席等、区と連携を図りながら行っている。</p> <p>以上、全体としてサンパール荒川の指定管理業務は適正に行われていたと評価する。</p>

担当所管部	
部	区民生活部
課	区民課

平成26年度 指定管理者実績評価結果表【B施設】

施設概要		
施設名	名称	日暮里サニーホール
	所在地	荒川区東日暮里5-50-5 ホテルラングウッド4・5階
指定管理者	名称	日暮里サニーホールさくらグループ (構成団体：代表企業・(株)コングレ、(株)共立、 (株)スペースネットワーク)
	所在地	千代田区麴町5-1 弘済会館ビル(代表企業所在地)
施設開設年月日		平成元年2月9日
現在の指定管理者による 運営開始年月日		平成24年4月1日～
指定期間		平成24年4月1日～平成27年3月31日
業務内容		<ol style="list-style-type: none"> 1 施設及び附帯設備(以下「施設等」という。)の利用に関する業務 2 施設等の利用等の承認、不承認及び利用承認の取消に関する業務 3 施設等の利用料金の收受、減免及び還付に関する業務 4 施設等の維持管理に関する業務 5 公益財団法人荒川区芸術文化振興財団(以下、「ACC」という。)の事業に側面から協力する業務 6 利用者に対する芸術文化活動に関する情報の提供に関する業務 7 前6号のほか、区長が必要と認める業務 <p><施設の概要></p> <ul style="list-style-type: none"> ○多目的ホール 収容人員500名(フラット時)/面積404㎡ ○コンサートサロン 収容人員100名(フラット時)/面積113㎡ ○会議室 第1会議室 収容人員24名(面積57㎡) 第2会議室 収容人員12名(面積25㎡) 第3会議室 収容人員12名(面積28㎡) ※第2, 3会議室は通し使用可能
平成26年度の事業計画		
<ol style="list-style-type: none"> 1 管理運営業務 施設の安全管理(日常点検、保守点検)、報告書・統計資料の作成及び区への報告、利用者アンケート調査、情報誌の発行 2 研修 普通救命講習、舞台関係安全研修、個人情報取扱研修、地域文化勉強会等、施設運営に必要な研修 		
平成26年度の事業実績		
<ol style="list-style-type: none"> 1 上記管理運営事務の実施 2 利用料金収入 55,776,800円 3 稼働率 ホール73.6% コンサートサロン89.5% 会議室78.7% 4 利用者数 ホール68,975人 コンサートサロン32,521人 集会室45,977人 		

施設決算状況

年度		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度（予算）
収入	予算	93,891,054	94,248,000	97,418,000	97,818,000
	決算	94,141,774	95,862,662	102,169,185	
支出	予算	93,891,054	94,248,000	97,418,000	97,818,000
	決算	96,650,641	95,353,584	97,418,000	
収支	予算	0	0	0	0
	決算	-2,508,867	509,078	4,751,185	

（備考）

基本評価項目

評価項目		配点	評価		得点
			レベル	乗率	配点×乗率
施設の維持管理		40			32
①	快適に利用できるための施設管理がなされている	20	4	80%	16
②	業務の遂行に必要な職員が配置されている	10	4	80%	8
③	研修計画に基づいた職員の受講がなされてる	10	4	80%	8
区民サービス		60			44
④	利用者に対し、満足いくサービスを提供している	20	4	80%	16
⑤	利用者の意見を取入れ、改善につなげている	20	3	60%	12
⑥	事故を未然に防止し、苦情があった場合は適切に対処している。	20	4	80%	16
合 計 (A)		100	-	-	76

その他の評価項目						
評価項目		配点	評価		得点	
			レベル	乗率	配点×乗率	
⑦	区内事業者を活用している。	5	4	80%	4	
⑧	障害者を積極的に雇用している。	5	4	80%	4	
合計(A)		10	-	-	8	
評価内容<区民サービス>						
⑦区内事業者を活用している。	修繕工事では、15件中、専門性の高い6件を除く他の9件全てを区内業者に発注している。					
⑧障害者を積極的に雇用している。	障害者雇用率は2.48%であり、法定雇用率2.0%を超えている。					
改善すべき点等						
・施設の老朽化						
合計(A+B)					84	
総合評価					A	
財務・労務評価表						
評価項目		評価内容			評価	
収支状況・縮減努力	会計手続が適正である	会計手続きは適正であり、経費の不自然な計上は見受けられない。決算数字は正しく報告されている。			A	A
	予算管理が適正である	収入は対予算比で増加し、収支差額は黒字計上されており、適正な予算管理が行われている。			A	
	経費縮減の努力が行われている	前年度比、収入増、支出減の為、収支差額の黒字幅が増加しており、経費節減の努力がみられる。			A	
法人決算	安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している	決算状況・財務状況より安定的・継続的な運営に必要な財務力を有していると判断する。			A	
労務	労働環境が適正である	法令に準じた運用を行っており、適切な労働環境が維持されている。			A	

総評

サービス面	<p>・法令を遵守し、適切な施設管理を行うとともに、利用者の要望に対し、誠実に対応している。接遇向上に向けた研修や災害時対応に関する教育も積極的に行っている。</p> <p>・地域文化団体と交流を図り、地域の文化活動の拠点として文化団体の活動支援をすることで、区の芸術文化の振興に寄与している。</p>
財務・労務面	<p>財務面については、会計手続きや予算管理は適正であり、経費節減の努力も見受けられる。また、指定管理者である日暮里サニーホールさくらグループ共同事業体各社の財務状態は良好であり、安定的な財務力を有している。</p> <p>労務面では法令に準じた労務管理を行っており、労働環境は適正である。</p>
総合評価	<p>快適に利用できるための施設管理がなされ、利用者に満足いくサービスを提供していた。職員の配置も適正に行われており、サービス面は良好である。財務・労務面についても、昨年の指摘事項について改善が図られており、良好である。</p> <p>以上、全体として日暮里サニーホールの指定管理業務は適正に行われていたと評価する。</p>

担当所管部	
部	区民生活部
課	区民課

平成26年度 指定管理者実績評価結果表【B施設】

施設概要

施設名	名称	荒川区ムーブ町屋
	所在地	荒川区荒川7-50-9 センターまちや3・4階
指定管理者	名称	ムーブ町屋さくらグループ (構成団体：代表企業・(株)コングレ、(株)共立、 (株)スペースネットワーク)
	所在地	千代田区麴町5-1 弘済会館ビル(代表企業所在地)
施設開設年月日		平成8年6月1日
現在の指定管理者による 運営開始年月日		平成24年4月1日
指定期間		平成24年4月1日～平成27年3月31日
業務内容		<ol style="list-style-type: none"> 1 施設及び附帯設備(以下「施設等」という。)の利用に関する業務 2 施設等の利用等の承認、不承認及び利用承認の取消に関する業務 3 施設等の利用料金の収受、減免及び還付に関する業務 4 施設等の維持管理に関する業務 5 公益財団法人荒川区芸術文化振興財団(以下、「ACC」という。)の事業に側面から協力する業務 6 利用者に対する芸術文化活動に関する情報の提供に関する業務 7 前6号のほか、区長が必要と認める業務 <p><施設の概要></p> <ul style="list-style-type: none"> ○多目的ホール 収容人員296席/面積343㎡ ○会議室A(ハイビジョンルーム) 収容人員70席/面積59㎡ ○会議室B(ミニギャラリー) 収容人員28名/面積70㎡ ○スタジオ 収容人員10名程度/面積51㎡ ○企画展示コーナー オープンスペース/面積145㎡ (ギャラリー) (4階全施設を使用する場合185㎡)

平成26年度の事業計画

- 1 管理運営業務
施設の安全管理(日常点検、保守点検)、報告書・統計資料の作成及び区への報告、利用者アンケート調査、情報誌の発行
- 2 研修
普通救命講習、舞台関係安全研修、個人情報取扱研修、地域文化勉強会等、施設運営に必要な研修

平成26年度の事業実績

- 1 上記管理運営事務の実施
- 2 利用料金収入 29,015,721円
- 3 稼働率 ムーブホール58.1% 会議室A54.1% 会議室B67.1% スタジオ68.6%
企画展示コーナー(ギャラリー)56.7%
- 4 利用者数 ムーブホール35,688人 会議室AB13,629人 スタジオ・ギャラリー43,195人

施設決算状況

年度		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度（予算）
収入	予算	64,441,080	62,137,000	63,913,000	64,913,000
	決算	61,872,284	62,082,079	63,269,898	
支出	予算	64,441,080	62,137,000	63,913,000	64,913,000
	決算	62,525,994	65,454,200	63,913,000	
収支	予算	0	0	0	0
	決算	-653,710	-3,372,121	-643,102	

（備考）

基本評価項目

評価項目		配点	評価		得点
			レベル	乗率	配点×乗率
施設の維持管理		40			32
①	快適に利用できるための施設管理がなされている	20	4	80%	16
②	業務の遂行に必要な職員が配置されている	10	4	80%	8
③	研修計画に基づいた職員の受講がなされてる	10	4	80%	8
区民サービス		60			44
④	利用者に対し、満足のいくサービスを提供している	20	4	80%	16
⑤	利用者の意見を取入れ、改善につなげている	20	3	60%	12
⑥	事故を未然に防止し、苦情があった場合は適切に対処している。	20	4	80%	16
合 計 (A)		100	-	-	76

その他の評価項目

評価項目	配点	評価		得点
		レベル	乗率	配点×乗率
⑦ 区内事業者を活用している。	5	4	80%	4
⑧ 障害者を積極的に雇用している。	5	4	80%	4
合計 (A)	10	-	-	8

評価内容<区民サービス>

⑦区内事業者を活用している。	修繕工事では、18件中、専門性の高い7件を除く他の11件全てを区内業者に発注している。
⑧障害者を積極的に雇用している。	障害者雇用率は2.48%であり、法定雇用率2.0%を超えている。

改善すべき点等

・施設の老朽化

合計 (A+B)	84
総合評価	A

財務・労務評価表

評価項目		評価内容	評価	
収支状況・縮減努力	会計手続が適正である	会計手続きは適正であり、経費の不自然な計上は見受けられない。決算数字は正しく報告されている。	A	A
	予算管理が適正である	収入は対予算比で減少しており、収支差額は赤字であるものの、適切な予算管理が行われている。	A	
	経費縮減の努力が行われている	昨年度比、収入微増、支出大幅減少の為、収支差額は改善しており、経費節減努力が見受けられる。	A	
法人決算	安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している	決算状況・財務状況より安定的・継続的な運営に必要な財務力を有していると判断する。	A	
労務	労働環境が適正である	法令に準じた運用を行っており、適切な労働環境が維持されている。	A	

総評

サービス面	<p>・法令を遵守し、適切な施設管理を行うとともに、利用者の要望に対し、誠実に対応している。接遇向上に向けた研修や災害時対応に関する教育も積極的に行っている。</p> <p>・地域文化団体と交流を図り、地域の文化活動の拠点として文化団体の活動支援をすることで、区の芸術文化の振興に寄与している。</p>
財務・労務面	<p>財務面については、会計手続きや予算管理は適正であり、経費節減の努力も見受けられる。また、指定管理者であるムーブ町屋さくらグループ共同事業体各社の財務状態は良好であり、安定的な財務力を有している。</p> <p>労務面では法令に準じた労務管理を行っており、労働環境は適正である。</p>
総合評価	<p>快適に利用できるための施設管理がなされ、利用者に満足いくサービスを提供していた。職員の配置も適正に行われており、サービス面は良好である。財務・労務面についても、昨年の指摘事項について改善が図られており、良好である。</p> <p>以上、全体として荒川区ムーブ町屋の指定管理業務は適正に行われていたと評価する。</p>

担当所管部	
部	区民生活部
課	区民課

平成26年度 指定管理者実績評価結果表【B施設】

施設概要

施設名	名称	石浜ふれあい館
	所在地	荒川区南千住三丁目28番2号
指定管理者	名称	株式会社日本デイクアセンター
	所在地	千代田区猿楽町二丁目2番3号
施設開設年月日		平成25年4月1日
現在の指定管理者による運営開始年月日		平成25年4月1日
指定期間		平成25年4月1日～平成28年3月31日
業務内容	<p>乳幼児から児童・青少年・成人・高齢者まで、あらゆる世代の区民が生き生きと集い、ふれあいと相互交流の輪を広げる。 遊び・文化・スポーツ・健康づくり・教養娯楽活動等を通じて地域コミュニティの形成を図るための事業を実施する。 地域住民の自主的かつ主体的な活動を促進するための場の提供に係る事業を実施する。</p> <p>【敷地面積】 1,018.44㎡ 【延床面積】 1,105.06㎡ 【主な施設】 1階…事務室、サロン、親子ふれあいひろば、授乳室 2階…多目的室、プレイルーム、創作室 3階…和室1・2 4階…洋室1・2、備蓄倉庫 その他付属設備…だれでもトイレ、男女トイレ、給湯室、 駐車場、駐輪場</p>	

平成26年度の事業計画

乳幼児の子育て支援事業として、幼児タイム・高齢者との世代間交流・各種講座等の事業を行うほか、親子ふれあいひろばなどを活用して乳幼児が安全に過ごすことができる環境整備に努める。
児童事業として、多くの小学生が参加できるサークル活動や行事を実施し、子ども同士の交流を図るよう努める。
中高生事業として、中高生が利用しやすい環境整備に努め、青少年の健全な育成と交流の拠点になるよう努める。
高齢者事業として、事業の充実に努め、高齢者同士の交流の場を提供していくよう努める。
町会等の地域活動支援を積極的に行い、区民同士の交流と自主的活動促進の援助を行うよう努めるほか、文化向上や余暇の充実が図れるようにボランティアによる講座も支援し、心豊かな地域社会の形成に貢献できるように努める。

平成26年度の実績

開館して2年目であるが、各世代とも安定した事業運営を行い、地域に密着した館に成長した。乳幼児事業では、「ミルクキー」、「クッキー」、「タッチー」、「ウッキータイム」といった、乳幼児の成長段階に合わせたクラスを複数用意し、それぞれ異なる内容の乳幼児事業を実施した。また、児童事業では、ダンスや音楽などのサークルが荒川区や東京都主催のイベントに積極的に参加したほか、地域のお祭りにおいて発表するなど、地域の方々との交流に力を入れた。
中高生事業では、青少年の健全な育成と交流の拠点となるよう努めるとともに、館事業に自発的にお手伝いをしてくれる中高生をボランティアに活用するなど、社会参加を促す工夫を行った。高齢者事業では、健康に繋がる取組を積極的に行い、高齢者の健康増進に努めるとともに活動の場を館外に広げ、散歩やピクニック等を実施した。

世代別入館者数	カッコ内は昨年入館者数
幼児	4,352名(4,831名)
小学生	7,622名(8,876名)
中学生	777名(1,129名)
大人(高校生を含む)	6,261名(4,810名)
内:高校生	340名(54名)
内:18歳以上	5,921名(4,756名)
高齢者	6,635名(4,399名)
総入館者数	25,647名(24,045名)

施設決算状況

年度		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度（予算）
収入	予算		43,802,275	44,564,444	45,043,805
	決算		43,802,275	44,564,444	
支出	予算		43,802,275	44,564,444	45,043,805
	決算		40,374,092	44,217,840	
収支	予算		0	0	0
	決算		3,428,183	346,604	

（備考）

基本評価項目

評価項目	配点	評価		得点 (配点×乗率)
		レベル	乗率	
施設の維持管理				20
快適に利用できるための施設管理がなされている	5	5	100%	5
安全・安心に過ごすための施設管理がなされている	5	5	100%	5
危機管理・苦情・事故等の管理を徹底している	10	5	100%	10
区民サービス				80
事業に対する満足度が高い	40	5	100%	40
職員の接遇がきちんとなされている	10	5	100%	10
ポスターや館便り等の広報方法を工夫している	10	5	100%	10
幅広い事業展開を行っている	10	5	100%	10
利用者数が増加している	10	5	100%	10
合 計 (A)	100	-	-	100

その他の評価項目

評価項目	配点	評価		得点 (配点×乗率)
		レベル	乗率	
地域と連携した事業展開を行っている	5	5	100%	5
区民雇用を積極的に行っている	3	4	80%	2.4
施設全体における評価が高い	2	5	100%	2
合 計 (B)	10	-	-	9.4
評価内容				
館事業のハロウィーンパレードや地域清掃の実施にあたり、地元町会や地域住民の参加を促す工夫など、地域を巻き込んだ積極的な館運営を高く評価する。				
改善すべき点等				
合計 (A+B)				109.4
総合評価				S

財務・労務評価表

評価項目		評価内容	評価	
収支状況・縮減努力	会計手続が適正である	決算書、科目別内訳表、事業報告書等を審査した結果、会計処理は適正に行われている。	A	A
	予算管理が適正である	予算・決算、前年決算等と比較して収入・支出・収支差は少なく、予算管理は適正である。	A	
	経費縮減の努力が行われている	本部経費、光熱水費等について経費縮減の努力が行われている。	A	
法人決算	安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している	事業者の3期の決算書に基づいて財務診断した結果、成長性、収益性、安定性、活動性・健全性は良好であり、安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している。	A	
労務	労働環境が適正である	雇用契約書、賃金台帳、36協定、健康診断受診記録等を確認した結果、全ての項目が要件を満たしており、労働環境は適正である。	A	

総評

サービス面	施設の維持管理については、安全等に配慮した適正な施設管理が行われている。区民サービスについては、中高生を積極的にボランティアに参加させる工夫（ボランティア証の交付など）をはじめ、各世代別の事業についても、きめ細やかに実施し、利用者から高い評価を得ている。館のサービス向上のため、利用者の意見や提案を積極的に受け入れるほか、職員の育成にも力を入れている点などを高く評価する。
財務・労務面	財務面では、施設の会計手続や予算管理が適正に行われており、経費の効果的活用が実施されている。指定管理者である法人は、収益性、成長性、安定性、活動性・健全性等が良好であり、安定的運営を行う財務力を有している。労務面では、雇用契約条件、実施状況、健康診断などについて法令に準じた運用を行っている。
総合評価	サービス面は大変良好であり、財務・労務面についても良好である。指定管理業務は適正であったと評価できる。

担当所管部	
部	区民生活部
課	地域振興課

平成26年度 指定管理者実績評価結果表【B施設】

施設概要

施設名	名称	南千住ふれあい館
	所在地	荒川区南千住六丁目36番13号
指定管理者	名称	テンプスタッフ・ウィッシュ株式会社
	所在地	渋谷区代々木二丁目1番1号新宿マインズタワー
施設開設年月日		平成24年4月1日
現在の指定管理者による 運営開始年月日		平成24年4月1日
指定期間		平成24年4月1日～平成27年3月31日
業務内容	<p>乳幼児から児童・青少年・成人・高齢者まで、あらゆる世代の区民が生き生きと集い、ふれあいと相互交流の輪を広げる。 遊び・文化・スポーツ・健康づくり・教養娯楽活動等を通じて地域コミュニティの形成を図るための事業を実施する。 地域住民の自主的かつ主体的な活動を促進するための場の提供に係る事業を実施する。</p> <p>【敷地面積】1,168.96㎡ 【延床面積】1,419.15㎡ 【主な施設】1階…事務室、サロン、親子ふれあいひろば、和室1・2、授乳室・相談室 2階…多目的室、プレイルーム、創作室 3階…音楽室、洋室1・2 塔屋…屋上広場 その他付属設備…だれでもトイレ、男女トイレ、給湯室、 駐車場、駐輪場</p>	

平成26年度の事業計画

乳幼児・児童・青少年・成人・高齢者のあらゆる世代の人々が気軽に利用でき、ふれあいと交流を持てる地域の拠点となる施設整備を目指す。
子育て中の親子が気軽に利用できる居場所づくりを目指すとともに、母親の仲間作りと交流を支援する。
児童に健全な遊びや交流等の機会を提供し、健康な体と豊かな心を創りあげる事業を行う。
中高生が利用しやすいように「中高生タイム」を設け、多目的室などに居場所の提供を行い、非行や孤立を防止できるよう健全育成を支援する。
成人(高齢者を含む)を対象にスポーツや文化の講座を開催し、講座での仲間から新たな活動に発展できるよう支援する。

平成26年度の事業実績

乳幼児事業については、ベビーミュージック・音楽ムーブメント・食育講座・しつけ講座等、講師を招いての講座を多く実施した。また中高生事業では週に一回、多目的室を専用利用できる「ティーンズタイム」を設けて、思い切り体を動かす場にするとともに職員とのコミュニケーションを図る機会とした。
成人事業では昨年同様の事業を継続して行い、利用者同士の交流をより深めることができた。
乳幼児から高齢者までの多世代交流の機会とするため、南千住わくわくまつりを開催したほか、「オトナの手芸」の講師を子どもたちにお願ひし、交流を深める工夫を図った。また、おばけやしき・わくわくまつり・クリスマス会などを子どもたちが中心となって話し合い、企画・運営を行った。その結果、子どもたちが、南千住ふれあい館は「自分のふれあい館」という意識を持つことができた。

世代別入館者数	カッコ内は昨年入館者数
幼児	11,787名(11,692名)
小学生	13,198名(14,372名)
中学生	6,364名(3,459名)
大人(高校生を含む)	15,658名(14,956名)
内:高校生	170名(219名)
内:18歳以上	15,488名(14,737名)
高齢者	14,495名(14,978名)
総入館者数	61,502名(59,457名)

施設決算状況

年度		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度（予算）
収入	予算	45,078,573	45,637,640	46,494,347	46,842,010
	決算	45,181,292	45,813,635	46,635,390	
支出	予算	43,373,704	45,637,640	46,494,347	46,842,010
	決算	43,161,902	48,024,501	47,883,001	
収支	予算	1,704,869	0	0	0
	決算	2,019,390	-2,210,866	-1,247,611	

（備考）

基本評価項目

評価項目	配点	評価		得点 (配点×乗率)
		レベル	乗率	
施設の維持管理				20
快適に利用できるための施設管理がなされている	5	5	100%	5
安全・安心に過ごすための施設管理がなされている	5	5	100%	5
危機管理・苦情・事故等の管理を徹底している	10	5	100%	10
区民サービス				76
事業に対する満足度が高い	40	5	100%	40
職員の接遇がきちんとなされている	10	5	100%	10
ポスターや館便り等の広報方法を工夫している	10	4	80%	8
幅広い事業展開を行っている	10	5	100%	10
利用者数が増加している	10	4	80%	8
合 計 (A)	100	-	-	96

その他の評価項目

評価項目	配点	評価		得点 (配点×乗率)
		レベル	乗率	
地域と連携した事業展開を行っている	5	4	80%	4
区民雇用を積極的に行っている	3	5	100%	3
施設全体における評価が高い	2	5	100%	2
合計 (B)	10	-	-	9
評価内容				
<p>中高生の健全育成を図るため、ティーンズタイムを週1回設け、多目的室等に居場所の提供を行うほか、職員とコミュニケーションを図る場を設けるなど、積極的に取り組んだ結果、中学生の入館者数が前年比で183%増加するなど成果を上げた点を評価する。</p>				
改善すべき点等				
合計 (A+B)				105
総合評価				S

財務・労務評価表

評価項目		評価内容	評価	
収支状況・縮減努力	会計手続が適正である	決算書、科目別内訳表、事業報告書等を審査した結果、会計処理は適正に行われている。	A	A
	予算管理が適正である	予算・決算、前年決算等と比較して収入・支出・収支差は少なく、予算管理は適正である。	A	
	経費縮減の努力が行われている	本部経費が見込みより過大になっている。	B	
法人決算	安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している	事業者の3期の決算書に基づいて財務診断した結果、成長性、収益性、安定性、活動性・健全性は極めて良好であり、安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している。	S	
労務	労働環境が適正である	雇用契約書、賃金台帳、36協定、健康診断受診記録等を確認した結果、全ての項目が要件を満たしており、労働環境は適正である。	A	

総評

サービス面	施設の維持管理については、安全等に配慮した適正な施設管理が行われている。区民サービスについては、子どもが講師になり高齢者に作り方を教えるオトナの手芸などの多世代交流を実施している。また、利用者の提案を事業化した高齢者を対象とした大人の卓球タイム、健康麻雀や乳幼児親子を対象とした寝ぞうアートなど、利用者のニーズに対応した事業を実施するなど、積極的な事業展開を評価する。
財務・労務面	財務面では、施設の会計手続や予算管理が適正に行われており、経費の効果的活用が実施されている。指定管理者である法人は収益性、成長性、安定性、活動性・健全性等が極めて優れており、安定的運営を行う財務力を有している。 労務面では、雇用契約条件、実施状況、健康診断などについて法令に準じた運用を行っている。
総合評価	サービス面は大変良好であり、財務・労務面についても良好である。指定管理業務は適正であったと評価できる。

担当所管部	
部	区民生活部
課	地域振興課

平成26年度 指定管理者実績評価結果表【B施設】

施設概要

施設名	名称	南千住駅前ふれあい館
	所在地	荒川区南千住七丁目1番1号アクレスティ南千住2F
指定管理者	名称	株式会社日本ダイケアセンター
	所在地	千代田区猿楽町二丁目2番3号
施設開設年月日		平成22年4月1日
現在の指定管理者による 運営開始年月日		平成22年4月1日
指定期間		平成25年4月1日～平成28年3月31日
業務内容	<p>乳幼児から児童・青少年・成人・高齢者まで、あらゆる世代の区民が生き生きと集い、ふれあいと相互交流の輪を広げる。 遊び・文化・スポーツ・健康づくり・教養娯楽活動等を通じて地域コミュニティの形成を図るための事業を実施する。 地域住民の自主的かつ主体的な活動を促進するための場の提供に係る事業を実施する。</p> <p>【敷地面積】アクレスティ南千住内 【延床面積】1,037.45㎡ 【主な施設】2階…事務室、サロン、親子ふれあいひろば、多目的室 3階…ブレイルーム、創作室、和室、洋室1・2・3・4 その他付属設備…だれでもトイレ、男女トイレ、相談室、給湯室、 駐車場、駐輪場</p>	

平成26年度の事業計画

乳幼児の子育て支援事業として、幼児タイム・高齢者との世代間交流と各種講座等の事業を行う。親子ふれあいひろばを活用し、幼児専用スペースを確保して安全に過ごせる環境を整備する。また、子育て支援活動として、担当者による子育て相談を受ける。

多くの子どもたちが参加できるサークル活動や行事を実施し、子ども同士の交流を図る。

中高生が利用しやすい環境の整備に努め、健全な育成と交流の拠点となるように努める。

中学生職場体験の積極的な受け入れなどにより、中学生の健全育成に努める。

区民相互の交流と自主的活動促進の支援を行い、文化的生活の向上や余暇の充実を図れるように事業を展開していく。

高齢者の交流と孤食防止を図るため、高齢者が集い昼食を楽しめる「シルバーランチ」を開催し、交流の場を提供していく。

平成26年度の事業実績

乳幼児事業では館長自らが育児相談の相手となり、母親たちを支援したほか、乳幼児とその両親を対象とした体操や読み聞かせなど数多くの事業を実施した。

児童事業では、「イフオットイス」、「南千雑技団」などのサークル活動を行い、各行事で日ごろの成果を発表した。スポーツサークルである「サウザーズ」は地域貢献のため、地域清掃活動にも取り組んだ。

成人事業では、コーラスサークル「ミルフィューハーモニー」が、近隣の高齢者施設への慰問を行い、高齢者との交流を図った。

高齢者事業では、年間を通じ、踊りや合唱、レクダンス等の定例活動のほか、高齢者同士の親睦を図れるよう、館外活動として「駅前ツアーズ・合羽橋散策と寄席」を実施した。

世代別入館者数 カッコ内は昨年入館者数

幼児 10,163名(7,775名)

小学生 13,909名(14,065名)

中学生 777名(1,366名)

大人(高校生を含む) 15,133名(12,664名)

 内:高校生 647名(295名)

 内:18歳以上 14,486名(12,369名)

高齢者 12,587名(10,930名)

入館者数 52,569名(46,800名)

施設決算状況

年度		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度（予算）
収入	予算	40,043,678	40,053,678	41,249,497	41,601,676
	決算	40,043,678	40,053,678	41,249,497	
支出	予算	40,043,678	40,053,678	41,249,497	41,601,676
	決算	35,205,579	38,148,864	38,213,075	
収支	予算	0	0	0	0
	決算	4,838,099	1,904,814	3,036,422	

（備考）

基本評価項目

評価項目	配点	評価		得点 (配点×乗率)
		レベル	乗率	
施設の維持管理				20
快適に利用できるための施設管理がなされている	5	5	100%	5
安全・安心に過ごすための施設管理がなされている	5	5	100%	5
危機管理・苦情・事故等の管理を徹底している	10	5	100%	10
区民サービス				76
事業に対する満足度が高い	40	5	100%	40
職員の接遇がきちんとなされている	10	4	80%	8
ポスターや館便り等の広報方法を工夫している	10	4	80%	8
幅広い事業展開を行っている	10	5	100%	10
利用者数が増加している	10	5	100%	10
合 計 (A)	100	-	-	96

その他の評価項目

評価項目	配点	評価		得点 (配点×乗率)
		レベル	乗率	
地域と連携した事業展開を行っている	5	5	100%	5
区民雇用を積極的に行っている	3	3	60%	1.8
施設全体における評価が高い	2	4	80%	1.6
合計 (B)	10	-	-	8.4
評価内容				
美大や音大出身の職員が講師となって実施する絵画教室やコーラスなどの講座をはじめ職員のスキルや特技を活用した講座が充実している。利用者の意見や要望を反映した積極的な事業展開を評価する。				
改善すべき点等				
合計 (A+B)				104.4
総合評価				S

財務・労務評価表

評価項目		評価内容	評価	
収支状況・縮減努力	会計手続が適正である	決算書、科目別内訳表、事業報告書等を審査した結果、会計処理は適正に行われている。	A	A
	予算管理が適正である	予算・決算、前年決算等と比較して収入・支出・収支差は少なく、予算管理は適正である。	A	
	経費縮減の努力が行われている	本部経費等について経費縮減の努力が行われている。	A	
法人決算	安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している	事業者の3期の決算書に基づいて財務診断した結果、成長性、収益性、安定性、活動性・健全性は良好であり、安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している。	A	
労務	労働環境が適正である	雇用契約書、賃金台帳、36協定、健康診断受診記録等を確認した結果、全ての項目が要件を満たしており、労働環境は適正である。	A	

総評

サービス面	施設の維持管理については、安全等に配慮した適正な施設管理が行われている。区民サービスについては、子どもスポーツサークルサウザーズによる清掃活動や、成人コーラスサークルミルフィーユハーモニーによる特別養護老人ホームへ慰問などの地域活動を積極的に取り組んでいる。また、南千住駅前に立地しているため、親子ふれあいひろばを22時まで開室するなど、地域特性に応じた館運営を高く評価する。
財務・労務面	財務面では、施設の会計手続や予算管理が適正に行われており、経費の効果的活用が実施されている。指定管理者である法人は、収益性、成長性、安定性、活動性・健全性等が良好であり、安定的運営を行う財務力を有している。 労務面では、雇用契約条件、実施状況、健康診断などについて法令に準じた運用を行っている。
総合評価	サービス面は大変良好であり、財務・労務面についても良好である。指定管理業務は適正であったと評価できる。

担当所管部	
部	区民生活部
課	地域振興課

平成26年度 指定管理者実績評価結果表【B施設】

施設概要

施設名	名称	汐入ふれあい館
	所在地	荒川区南千住八丁目2番2号
指定管理者	名称	社会福祉法人雲柱社
	所在地	世田谷区上北沢三丁目8番19号
施設開設年月日		平成17年4月1日
現在の指定管理者による 運営開始年月日		平成17年4月1日
指定期間		平成26年4月1日～平成29年3月31日
業務内容	<p>乳幼児から児童・青少年・成人・高齢者まで、あらゆる世代の区民が生き生きと集い、ふれあいと相互交流の輪を広げる。 遊び・文化・スポーツ・健康づくり・教養娯楽活動等を通じて地域コミュニティの形成を図るための事業を実施する。 地域住民の自主的かつ主体的な活動を促進するための場の提供に係る事業を実施する。</p> <p>【敷地面積】 汐入小学校敷地内 【延床面積】 1,237.38㎡ 【主な施設】 2階…事務室、サロン、多目的室、和室、図書室 3階…ブレイルーム、創作室、洋室、親子ふれあいひろば、 学童クラブ室 その他付属設備…だれでもトイレ、男女トイレ、給湯室、駐輪場</p>	

平成26年度の事業計画

地域で乳幼児を育てている母親たちが集い、子育ての情報交換や悩みが相談できる場と活動を提供し、子育て支援を図る。

地域の子どもの居場所として、家庭や学校とは異なる環境で異年齢との交流を大切にしつつ、遊びやグループ活動を通して、子どもの生きる力、社会性を培っていくとともに、他者との関係を広げながらその関わりの中で自立への力を積み重ねられるようにする。受け入れ、関わりを深め、共に活動を展開しながら子どもたちの成長を見守り、支援していく。

世代間交流を図るため、地域の人々と共に事業計画をつくり、ボランティアへの協力も促進していくほか、地域の方々の活動の幅を広げるプログラムを展開していく。

高齢者の方々の居場所、活動の拠点としてのプログラムを企画、展開していく。事業を通じ、趣味等の生きがいづくり、仲間づくりを支援していく。

平成26年度の事業実績

汐入地域の、乳幼児が多い地域性に対応するため、乳幼児事業として0歳児新生児から年長児までの年齢別クラスを実施するなど、きめ細やかな対応を行った。また、母親向けの運動として「ピラティス」、「エアロビクス」を実施し、好評を得た。

小学生の来館者数が多いことを踏まえ、多目的室などの事業充実を図るとともに、小学生から高校生までを対象とした交流卓球大会、高齢者と子どもたちを対象とした交流わなげ大会を実施した。また、三世代の交流を図る目的から、乳幼児親子運動会を実施し、300名を超える参加があった。

成人及び高齢者の要望を踏まえ、「江戸深川資料館、清澄庭園」と「小石川後樂園」へのおでかけ企画を実施した。

世代別入館者数	カッコ内は昨年入館者数
幼児	12,182名(15,493名)
小学生	28,668名(29,844名)
中学生	2,000名(2,689名)
大人(高校生を含む)	18,372名(20,371名)
内:高校生	674名(120名)
内:18歳以上	17,698名(20,251名)
高齢者	8,007名(7,284名)
入館者数	69,229名(75,681名)

施設決算状況

年度		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度（予算）
収入	予算	41,309,573	41,309,573	42,505,552	42,533,703
	決算	41,311,912	41,309,573	42,505,552	
支出	予算	41,309,573	41,309,573	42,505,552	42,533,703
	決算	40,890,422	40,568,771	39,165,991	
収支	予算	0	0	0	0
	決算	421,490	740,802	3,339,561	

（備考）

基本評価項目

評価項目	配点	評価		得点 (配点×乗率)
		レベル	乗率	
施設の維持管理				16
快適に利用できるための施設管理がなされている	5	3	60%	3
安全・安心に過ごすための施設管理がなされている	5	3	60%	3
危機管理・苦情・事故等の管理を徹底している	10	5	100%	10
区民サービス				66
事業に対する満足度が高い	40	4	80%	32
職員の接遇がきちんとなされている	10	5	100%	10
ポスターや館便り等の広報方法を工夫している	10	4	80%	8
幅広い事業展開を行っている	10	5	100%	10
利用者数が増加している	10	3	60%	6
合 計 (A)	100	-	-	82

その他の評価項目				
評価項目	配点	評価		得点 (配点×乗率)
		レベル	乗率	
地域と連携した事業展開を行っている	5	4	80%	4
区民雇用を積極的に行っている	3	4	80%	2.4
施設全体における評価が高い	2	3	60%	1.2
合計 (B)	10	-	-	7.6
評価内容				
小学生の来館者数が最も多いため、小学生向けの事業の充実を図るほか、乳幼児クラスは定員を設けず受け入れ、クラスの月齢を細かく区切るなど、子どもの数が多い汐入地域の特性に対応したきめ細かい事業展開が行われている点を評価する。				
改善すべき点等				
合計 (A+B)				89.6
総合評価				A

財務・労務評価表

評価項目		評価内容	評価	
収支状況・縮減努力	会計手続が適正である	決算書、科目別内訳表、事業報告書等を審査した結果、会計処理は適正に行われている。	A	A
	予算管理が適正である	予算・決算、前年決算等と比較して収入・支出・収支差は少なく、予算管理は適正である。	A	
	経費縮減の努力が行われている	清掃委託費、運営費等について経費縮減の努力が行われている。	A	
法人決算	安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している	事業者の3期の決算書に基づいて財務診断した結果、成長性、収益性、安定性、活動性・健全性は良好であり、安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している。	A	
労務	労働環境が適正である	雇用契約書、賃金台帳、36協定、健康診断受診記録等を確認した結果、全ての項目が要件を満たしており、労働環境は適正である。	A	

総評

サービス面	施設の維持管理については、安全等に配慮した適正な施設管理が行われている。区民サービスについては、きめ細やかな実施で定評のある乳幼児事業や児童事業の乳幼児親子運動会や小学生と地元老人会との合同わなげ大会などの世代間交流の事業にも取り組んだ。この交流により、お互いが顔見知りになることで街中で声を掛け合う仲になるなど、地域で子どもを育てていく場の一助を担った。
財務・労務面	財務面では、施設の会計手続や予算管理が適正に行われており、経費の効果的活用が実施されている。指定管理者である法人は、収益性、成長性、安定性、活動性・健全性等が良好であり、安定的運営を行う財務力を有している。 労務面では、雇用契約条件、実施状況、健康診断などについて法令に準じた運用を行っている。
総合評価	サービス面、財務・労務面ともに良好であり、指定管理業務は適正であったと評価できる。

担当所管部	
部	区民生活部
課	地域振興課

平成26年度 指定管理者実績評価結果表【B施設】

施設概要		
施設名	名称	峡田ふれあい館
	所在地	荒川区荒川三丁目3番10号
指定管理者	名称	特定非営利活動法人ワーカーズコープ
	所在地	豊島区東池袋一丁目44番3号池袋 I S P タマビル
施設開設年月日		平成23年4月1日
現在の指定管理者による 運営開始年月日		平成23年4月1日
指定期間		平成26年4月1日～平成29年3月31日
業務内容	<p>乳幼児から児童・青少年・成人・高齢者まで、あらゆる世代の区民が生き生きと集い、ふれあいと相互交流の輪を広げる。 遊び・文化・スポーツ・健康づくり・教養娯楽活動等を通じて地域コミュニティの形成を図るための事業を実施する。 地域住民の自主的かつ主体的な活動を促進するための場の提供に係る事業を実施する。</p> <p>【敷地面積】1,295.36㎡ 【延床面積】1,767.90㎡ 【主な施設】1階…事務室、サロン、親子ふれあいひろば、授乳室 2階…和室1・2、洋室1・2、音楽室、調理 会議室 3階…多目的室、創作室、プレイルーム、学童クラブ室、相談室 その他付属設備…だれでもトイレ、男女トイレ、給湯室、 駐車場、駐輪場</p>	

平成26年度の事業計画

利用者との協同、地域との協同、働く人同士の共同を大切にす。人を主体者として信頼し、その成長に価値を置く。
利用者・家族・地域の人たちの参加の場をたくさん作り、一緒に創り上げる姿勢を大切にす館運営を実践する。
地域の課題を区民が主体となって解決していくことを通じて、地域の再生やまちづくりを目指すとともに利用者とのコミュニケーションを深め、また、意見箱を設置することで利用者の意見を吸い上げる。
利用者・区民をサービスの受け手に留めず、たくさんの力や意欲を活かした企画作りや運営参加を進めながら、自分たちのふれあい館をどのようにすべきかという、当事者として意見を出し合える関係を築き、ふれあい館の運営に反映していく。

平成26年度の事業実績

幼児タイムやママサークルを開き、母親同士の交流や、ベテラン職員による子育て相談などを行い、母親の居場所作りを努めたほか、ママサークルで実施したピラティスは大変な反響があり、多くの母親が参加した。
バンドを組んでいる中高生に対して音楽室を貸す「スタジオ峡田」事業を実施し、中高生の音楽活動を支援した。また、児童を対象としたパジャマパーティー、中高生対象の中高生合宿、バンド合宿など館内での宿泊事業を多く実施し、子ども同士の交流を深める場を提供した。
高齢者事業では、囲碁や民謡、舞やストレッチ事業については、専門の講師を呼び、事業の充実を図った。

世代別入館者数	カッコ内は昨年入館者数
幼児	10,288名(11,912名)
小学生	20,220名(19,126名)
中学生	3,236名(3,325名)
大人(高校生を含む)	20,226名(22,530名)
内:高校生	2,027名(3,109名)
内:18歳以上	18,199名(19,421名)
高齢者	26,193名(25,411名)
入館者数	80,163名(82,304名)

施設決算状況

年度		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度（予算）
収入	予算	45,509,998	46,162,153	48,531,692	49,168,624
	決算	45,502,216	46,162,153	48,531,692	
支出	予算	45,509,998	46,162,153	48,531,692	49,168,624
	決算	41,615,012	42,235,681	46,287,736	
収支	予算	0	0	0	0
	決算	3,887,204	3,926,472	2,243,956	

（備考）

基本評価項目

評価項目	配点	評価		得点 (配点×乗率)
		レベル	乗率	
施設の維持管理				19
快適に利用できるための施設管理がなされている	5	5	100%	5
安全・安心に過ごすための施設管理がなされている	5	4	80%	4
危機管理・苦情・事故等の管理を徹底している	10	5	100%	10
区民サービス				52
事業に対する満足度が高い	40	3	60%	24
職員の接遇がきちんとなされている	10	3	60%	6
ポスターや館便り等の広報方法を工夫している	10	3	60%	6
幅広い事業展開を行っている	10	4	80%	8
利用者数が増加している	10	4	80%	8
合 計 (A)	100	-	-	71

その他の評価項目

評価項目	配点	評価		得点 (配点×乗率)
		レベル	乗率	
地域と連携した事業展開を行っている	5	5	100%	5
区民雇用を積極的に行っている	3	5	100%	3
施設全体における評価が高い	2	3	60%	1.2
合計 (B)	10	-	-	9.2
評価内容				
<p>中高生や若者が地域で活躍できるボランティア養成に力を入れており、養成の成果を荒川三丁目中央会子ども祭りや峡田ふれあい館まつりなどで発揮したほか、館の事業を地元町会や商店街の協力のもと実施するなど地域活動の拠点として積極的に取り組む姿勢を評価する。</p>				
改善すべき点等				
合計 (A+B)				80.2
総合評価				A

財務・労務評価表

評価項目		評価内容	評価	
収支状況・縮減努力	会計手続が適正である	決算書、科目別内訳表、事業報告書等を審査した結果、会計処理は適正に行われている。	A	B
	予算管理が適正である	予算額と決算額に大きな差額のある科目が見受けられる。	B	
	経費縮減の努力が行われている	光熱水費が予算額を上回るなど管理費の縮減が課題である。	B	
法人決算	安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している	事業者の3期の決算書に基づいて財務診断した結果、成長性、収益性、安定性、活動性・健全性は良好であり、安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している。	A	
労務	労働環境が適正である	雇用契約書、賃金台帳、36協定、健康診断受診記録等を確認した結果、全ての項目が要件を満たしており、労働環境は適正である。	A	

総評

サービス面	施設の維持管理については、安全等に配慮した適正な施設管理が行われている。区民サービスについては中高生合宿、わくわくふれあいキャンプなど宿泊を伴う事業を多く実施し、子どもたちの自主性や自立心を高める事業として好評を得ているほか、ボードゲームやキンボールサークルなど館独自の取り組みを積極的に行った。また、グラウンドゴルフやシャンソンなどの特色ある高齢者事業を実施しており、高齢者の来館も多い館である。
財務・労務面	財務面では、施設の会計手続や予算管理が適正に行われているが、長期借入金が増加している等、一部課題がある。指定管理者である法人は、収益性、成長性、安定性、活動性・健全性等が良好であり、安定的運営を行う財務力を有している。 労務面では、雇用契約条件、実施状況、健康診断などについて法令に準じた運用を行っている。
総合評価	サービス面、労務面は良好である。財務面については、一部課題があるが改善の見込みがあり、指定管理業務は適正であったと評価できる。

担当所管部	
部	区民生活部
課	地域振興課

平成26年度 指定管理者実績評価結果表【B施設】

施設概要

施設名	名称	荒川山吹ふれあい館
	所在地	荒川区荒川七丁目6番8号
指定管理者	名称	特定非営利活動法人荒川区高年者クラブ連合会
	所在地	荒川区荒川一丁目34番6号
施設開設年月日		平成18年2月1日
現在の指定管理者による 運営開始年月日		平成18年2月1日
指定期間		平成24年4月1日～平成27年3月31日
業務内容	<p>乳幼児から児童・青少年・成人・高齢者まで、あらゆる世代の区民が生き生きと集い、ふれあいと相互交流の輪を広げる。 遊び・文化・スポーツ・健康づくり・教養娯楽活動等を通じて地域コミュニティの形成を図るための事業を実施する。 地域住民の自主的かつ主体的な活動を促進するための場の提供に係る事業を実施する。</p> <p>【敷地面積】665.77㎡ 【延床面積】1,230.26㎡ 【主な施設】1階…事務室、サロン、和室1・2 2階…プレイルーム（親子ふれあいひろば）、創作室、茶室、洋室1・2、調理・会議室 3階…多目的室 屋上…屋上庭園 その他付属設備…だれでもトイレ、男女トイレ、相談室、給湯室、駐車場、駐輪場</p>	

平成26年度の事業計画

乳幼児の保護者のためのリフレッシュ講座や子育て支援講座等を通じて、親子で楽しく利用できる場、子育ての情報が得られる場を提供する。
児童が安全・安心に過ごせる場と自主的サークルの支援の場を提供する。
青少年の健全育成を図るため、多目的室利用時間の拡充と自主サークルの支援の場を提供する。
高齢者の健康増進事業、交流事業及びふれあいランチなどを通じて一人暮らしの高齢者の閉じこもり防止事業を展開する。

平成26年度の事業実績

毎年4月に開催している「チューリップ鑑賞会」は館事業として地域に定着し、チューリップの球根を配布するなど今年も多くの方に楽しんでいただいた。
近隣の小学校の依頼を受けて5・6年生のふれあい館職業体験を受け入れたり、町会の餅つき会と一緒に参加するほか、高齢者の交流を図るため、ふれあいランチなどを実施し、地域の一員として積極的に交流事業を行った。
高齢者事業では、乳幼児との世代間交流活動である「じいじ・ばあばとあそぼ」や、高齢者事業に参加している方々が日ごろの練習の成果を互いに鑑賞する「山吹演芸会」を実施するなど、高齢者が生き生きと活動できる場を提供した。

世代別入館者数	カッコ内は昨年入館者数
幼児	11,909名(10,669名)
小学生	5,751名(6,732名)
中学生	854名(1,523名)
大人(高校生を含む)	13,809名(13,371名)
内:高校生	502名(690名)
内:18歳以上	13,307名(12,681名)
高齢者	15,206名(15,255名)
入館者数	47,529名(47,550名)

施設決算状況

年度		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度（予算）
収入	予算	44,423,028	44,726,018	46,167,166	46,785,957
	決算	44,957,228	45,175,600	46,488,376	
支出	予算	44,423,028	44,726,018	46,167,166	46,785,957
	決算	44,957,228	44,989,321	43,404,648	
収支	予算	0	0	0	0
	決算	0	186,279	3,083,728	

（備考）

基本評価項目

評価項目	配点	評価		得点 (配点×乗率)
		レベル	乗率	
施設の維持管理				16
快適に利用できるための施設管理がなされている	5	3	60%	3
安全・安心に過ごすための施設管理がなされている	5	3	60%	3
危機管理・苦情・事故等の管理を徹底している	10	5	100%	10
区民サービス				66
事業に対する満足度が高い	40	4	80%	32
職員の接遇がきちんとなされている	10	4	80%	8
ポスターや館便り等の広報方法を工夫している	10	4	80%	8
幅広い事業展開を行っている	10	5	100%	10
利用者数が増加している	10	4	80%	8
合 計 (A)	100	-	-	82

その他の評価項目

評価項目	配点	評価		得点 (配点×乗率)
		レベル	乗率	
地域と連携した事業展開を行っている	5	4	80%	4
区民雇用を積極的に行っている	3	5	100%	3
施設全体における評価が高い	2	4	80%	1.6
合 計 (B)	10	-	-	8.6
評価内容				
親子健康体操教室や新一年生の親子料理など、親子で楽しみながらスキンシップを図る事業が充実しており乳幼児親子の来館者が多く、親子で楽しく利用できる場、子育ての情報が得られる場を提供する活動を評価する。				
改善すべき点等				
合計 (A+B)				90.6
総合評価				A

財務・労務評価表

評価項目		評価内容	評価	
収支状況・縮減努力	会計手続が適正である	決算書、科目別内訳表、事業報告書等を審査した結果、会計処理は適正に行われている。	A	A
	予算管理が適正である	予算額と決算額に大きな差額のある科目が見受けられる。	B	
	経費縮減の努力が行われている	清掃委託費、保守関係費用等について経費縮減の努力が行われている。	A	
法人決算	安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している	事業者の3期の決算書に基づいて財務診断した結果、自己資本がマイナスで、短期借入金も増加してきており、成長性、収益性、安定性、活動性・健全性について改善すべき点が見受けられる。	C	
労務	労働環境が適正である	雇用契約書、賃金台帳、36協定、健康診断受診記録等を確認した結果、全ての項目が要件を満たしており、労働環境は適正である。	A	

総評

サービス面	施設の維持管理については、安全等に配慮した適正な施設管理が行われている。区民サービスについては春のチューリップ鑑賞会、夏の縁日あそび、秋のお月見コンサート、冬の町会合同餅つき会と乳幼児から高齢者まで、ともに楽しめる季節感のある事業が充実しており多世代交流が活発に行われている。また、初めてののお琴やこどもの茶道教室など、特色ある施設を活かした事業も実施しており、文化の伝承にも力を入れている。
財務・労務面	財務面では、施設の会計手続や予算管理が適正に行われており、経費の効果的活用が実施されている。指定管理者である法人は、法人決算が改善傾向にあるものの、成長性、収益性、安定性、活動性・健全性等について改善すべき点が見受けられ、努力が必要である。 労務面では、雇用契約条件、実施状況、健康診断などについて法令に準じた運用を行っている。
総合評価	サービス面、労務面は良好である。財務面については、法人決算に改善すべき点が複数あるが改善の見込みがあり、全体として指定管理業務は確実に行われていたと評価できる。

担当所管部	
部	区民生活部
課	地域振興課

平成26年度 指定管理者実績評価結果表【B施設】

施設概要		
施設名	名称	町屋ふれあい館
	所在地	荒川区町屋一丁目35番8号
指定管理者	名称	社会福祉法人雲柱社
	所在地	世田谷区上北沢三丁目8番19号
施設開設年月日		平成24年4月1日
現在の指定管理者による運営開始年月日		平成24年4月1日
指定期間		平成24年4月1日～平成27年3月31日
業務内容	<p>乳幼児から児童・青少年・成人・高齢者まで、あらゆる世代の区民が生き生きと集い、ふれあいと相互交流の輪を広げる。 遊び・文化・スポーツ・健康づくり・教養娯楽活動等を通じて地域コミュニティの形成を図るための事業を実施する。 地域住民の自主的かつ主体的な活動を促進するための場の提供に係る事業を実施する。</p> <p>【敷地面積】1,331.07㎡ 【延床面積】1,496.30㎡ 【主な施設】1階…事務室、サロン、親子ふれあいひろば、和室1・2 2階…プレイルーム、創作室、窯室、音楽室、洋室、授乳室・相談室 3階…多目的室 その他付属設備…だれでもトイレ、男女トイレ、更衣室、給湯室、駐車場、駐輪場</p>	

平成26年度の事業計画

地域における乳幼児子育ての支援活動を拡大する。
子どもたちに健全な遊びを提供し、心身の育ちを支援する。
中学生の居場所づくりと余暇活動を支援する。
地域の人々の交流をを助け、創作などの諸活動の表現の場となるように支援する。
成人・高齢者の諸活動を支援し、交流を広げる。
地域の方々から発信企画されたものを、諸活動として実現できるように支援する。

平成26年度の事業実績

乳幼児事業では、クラス活動を複数に分け、少人数でアットホームな活動を行った。登録制の活動以外にも、身長体重の測定や手型足型をとることができる活動を実施し、多くの方が参加した。
児童・中学生事業ではスポーツを主とする数多くの活動を行い、異年齢、学校間交流の機会とし、また、窯室を活用して親子陶芸教室や子ども対象の陶芸教室を実施するなど、館独自の事業を積極的に行った。また、登録制のダンスサークルなども実施し、町会主催の夕涼み会でのダンス発表等を通して地域の方々との交流を深めた。
成人事業では、カラオケ・民謡・ヨガ・ギター教室など利用者の要望を取り入れながら実施した。特に人気のヨガ活動は、新たに「成人ヨガ」を設けて利用者の需要に対応した。

世代別入館者数	カッコ内は昨年の入館者数
幼児	10,863名(9,077名)
小学生	14,290名(10,842名)
中学生	5,406名(4,033名)
大人(高校生を含む)	9,991名(8,458名)
内:高校生	315名(50名)
内:18歳以上	9,676名(8,408名)
高齢者	13,117名(8,687名)
入館者数	53,667名(41,097名)

施設決算状況

年度		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度（予算）
収入	予算	45,385,038	46,461,005	48,032,570	48,064,375
	決算	45,385,038	46,461,005	48,032,570	
支出	予算	45,385,038	46,461,005	48,032,570	48,064,375
	決算	45,400,856	44,316,297	44,443,161	
収支	予算	0	0	0	0
	決算	-15,818	2,144,708	3,589,409	

（備考）

基本評価項目

評価項目	配点	評価		得点 (配点×乗率)
		レベル	乗率	
施設の維持管理				20
快適に利用できるための施設管理がなされている	5	5	100%	5
安全・安心に過ごすための施設管理がなされている	5	5	100%	5
危機管理・苦情・事故等の管理を徹底している	10	5	100%	10
区民サービス				78
事業に対する満足度が高い	40	5	100%	40
職員の接遇がきちんとなされている	10	4	80%	8
ポスターや館便り等の広報方法を工夫している	10	5	100%	10
幅広い事業展開を行っている	10	5	100%	10
利用者数が増加している	10	5	100%	10
合 計 (A)	100	-	-	98

その他の評価項目

評価項目	配点	評価		得点 (配点×乗率)
		レベル	乗率	
地域と連携した事業展開を行っている	5	5	100%	5
区民雇用を積極的に行っている	3	5	100%	3
施設全体における評価が高い	2	5	100%	2
合計 (B)	10	-	-	10
評価内容				
<p>地域に根ざす地域密着型ふれあい館を目指し、館内の明るい雰囲気づくりに取り組んでおり、サロンは児童・生徒には娯楽や勉強の場所、高齢者には団らんの場所として整備を図り利用者を増やすなど、地域交流の拠点づくりに積極的に取り組む姿勢を評価する。</p>				
改善すべき点等				
合計 (A+B)				108
総合評価				S

財務・労務評価表

評価項目		評価内容	評価	
収支状況・縮減努力	会計手続が適正である	決算書、科目別内訳表、事業報告書等を審査した結果、会計処理は適正に行われている。	A	A
	予算管理が適正である	予算・決算、前年決算等と比較して収入・支出・収支差は少なく、予算管理は適正である。	A	
	経費縮減の努力が行われている	光熱水費、設備保守費が縮減されている。利用者増で運営費が増加している。	A	
法人決算	安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している	事業者の3期の決算書に基づいて財務診断した結果、成長性、収益性、安定性、活動性・健全性は良好であり、安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している。	A	
労務	労働環境が適正である	雇用契約書、賃金台帳、36協定、健康診断受診記録等を確認した結果、全ての項目が要件を満たしており、労働環境は適正である。	A	

総評

サービス面	施設の維持管理については、安全等に配慮した適正な施設管理が行われている。区民サービスについては、事業の実施にあたり、日頃から丁寧な指導が好評を得ており、特にマカロンをはじめとする幼児サークルも人気サークルに成長した。交流フェスタでは80名を超える子どもたちの参加があり、保護者や来場者から好評を得た。また、サロンの整備や事業の充実を図ることで、入館者数の前年比で130%増加するなど、積極的な館運営を高く評価する。
財務・労務面	財務面では、施設の会計手続や予算管理が適正に行われており、経費の効果的活用が実施されている。指定管理者である法人は、収益性、成長性、安定性、活動性・健全性等が良好であり、安定的運営を行う財務力を有している。 労務面では、雇用契約条件、実施状況、健康診断などについて法令に準じた運用を行っている。
総合評価	サービス面は大変良好であり、財務・労務面についても良好である。指定管理業務は適正であったと評価できる。

担当所管部	
部	区民生活部
課	地域振興課

平成26年度 指定管理者実績評価結果表【B施設】

施設概要

施設名	名称	荒木田ふれあい館
	所在地	荒川区町屋六丁目13番2号
指定管理者	名称	株式会社大起エンゼルヘルプ
	所在地	荒川区町屋五丁目10番9号
施設開設年月日		平成16年10月26日
現在の指定管理者による 運営開始年月日		平成16年10月26日
指定期間		平成25年4月1日～平成28年3月31日
業務内容	<p>乳幼児から児童・青少年・成人・高齢者まで、あらゆる世代の区民が生き生きと集い、ふれあいと相互交流の輪を広げる。 遊び・文化・スポーツ・健康づくり・教養娯楽活動等を通じて地域コミュニティの形成を図るための事業を実施する。 地域住民の自主的かつ主体的な活動を促進するための場の提供に係る事業を実施する。</p> <p>【敷地面積】783.58㎡ 【延床面積】1,215.43㎡ 【主な施設】1階…事務室、サロン、親子ふれあいひろば、多目的室 2階…プレイルーム、創作室、調理・会議室 3階…和室1・2、洋室1・2、音楽室 その他付属設備…だれでもトイレ、男女トイレ、相談室、給湯室、 駐車場、駐輪場</p>	

平成26年度の事業計画

乳幼児事業では、地域の社会資源や子育て経験のあるボランティア等の人的資源を活用した子育て支援を実施する。子育てによる孤立化を防止し、仲間づくりを促進するため、乳幼児とその母親が気軽にふれあい、交流ができる場を提供する。

児童事業では、自主的な運動活動と創作活動の支援を通して、個性や可能性・能力を伸ばし、健康な心と身体を持ちたくましく生きる力と「論理的・道徳的・美的情操」を豊かにする心の教育を行うことにより感情豊かな心を育てていく。

中高生事業では、限られた時間の中で中高生が思い切り身体を動かせる専用時間を日々設け、職員も一緒に活動することにより、中高生と信頼関係を築き、気軽に立ち寄れる環境を整備する。

成人事業では、健康づくりと生涯学習をテーマとし、文化・スポーツ・健康作り等の活動、アンケート調査を参考にした新規事業の実施と、勤労者が参加しやすい新規事業を展開していく。

平成26年度の事業実績

乳幼児事業では、子育て支援を図るため地域の社会資源や地域ボランティア等の人的資源の活用を目的として、幼児タイムを実施した。また児童事業では、児童に健全な遊び場を提供し、健康増進と情操を豊かにすることを目的として、ルールを守って遊ぶ楽しさを知ってもらい学年を超えた仲間づくりを図る活動を実施した。

また、当館の指定管理者である株式会社大起エンゼルヘルプが得意とする介護分野のノウハウを生かした家族介護者教室、鉄道模型の展示と体験運転を主とする荒木田トレインフェスティバル、多目的室を利用した社交ダンスパーティーなど、館独自の事業を数多く実施し、地域の関心を集める努力をした。

世代別入館者数	カッコ内は昨年入館者数
幼児	9,806名(10,881名)
小学生	17,880名(17,365名)
中学生	6,515名(2,417名)
大人(高校生を含む)	18,339名(20,966名)
内:高校生	388名(2,282名)
内:18歳以上	17,951名(18,684名)
高齢者	10,338名(9,809名)
入館者数	62,878名(61,438名)

年度		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度（予算）
収入	予算	44,827,233	45,178,988	46,653,735	47,301,126
	決算	44,827,223	45,178,988	46,653,735	
支出	予算	44,827,233	45,178,988	46,653,735	47,301,126
	決算	44,679,070	45,000,656	47,832,927	
収支	予算	0	0	0	0
	決算	148,153	178,332	-1,179,192	

（備考）

基本評価項目

評価項目	配点	評価		得点 (配点×乗率)
		レベル	乗率	
施設の維持管理				17
快適に利用できるための施設管理がなされている	5	4	80%	4
安全・安心に過ごすための施設管理がなされている	5	3	60%	3
危機管理・苦情・事故等の管理を徹底している	10	5	100%	10
区民サービス				66
事業に対する満足度が高い	40	4	80%	32
職員の接遇がきちんとなされている	10	4	80%	8
ポスターや館便り等の広報方法を工夫している	10	4	80%	8
幅広い事業展開を行っている	10	5	100%	10
利用者数が増加している	10	4	80%	8
合 計 (A)	100	-	-	83

その他の評価項目

評価項目	配点	評価		得点 (配点×乗率)
		レベル	乗率	
地域と連携した事業展開を行っている	5	4	80%	4
区民雇用を積極的に行っている	3	5	100%	3
施設全体における評価が高い	2	4	80%	1.6
合計 (B)	10	-	-	8.6
評価内容				
<p>来館者や事業の参加者からの講師登用に力を入れており、これまでの経験やキャリアを活用した数多くの講師が登壇した。また介護者教室を実施するなど、地域の介護力向上を図り高齢者や障がい者が安心して暮らせる社会づくりを目指す姿勢を評価する。</p>				
改善すべき点等				
合計 (A+B)				91.6
総合評価				A

財務・労務評価表

評価項目		評価内容	評価	
収支状況・縮減努力	会計手続が適正である	決算書、科目別内訳表、事業報告書等を審査した結果、会計処理は適正に行われている。	A	A
	予算管理が適正である	予算・決算、前年決算等と比較して収入・支出・収支差は少なく、予算管理は適正である。	A	
	経費縮減の努力が行われている	役務費で縮減努力がなされている一方、収支差額において予算を上回っている。	B	
法人決算	安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している	事業者の3期の決算書に基づいて財務診断した結果、成長性、収益性、安定性、活動性・健全性について一部改善の必要が見受けられるものの、3期とも経常利益を確保しており、自己資本比率が高い。	B	
労務	労働環境が適正である	雇用契約書、賃金台帳、36協定、健康診断受診記録等を確認した結果、全ての項目が要件を満たしており、労働環境は適正である。	A	

総評

サービス面	施設の維持管理については、安全等に配慮した適正な施設管理が行われている。区民サービスについては、小中学生に人気の一輪車教室、成人対象の快眠ヨガ教室、鉄道模型の展示と走行体験ができる荒木田トレインフェスティバルなど、多種多様な事業を数多く実施しており、区内外から多くの関心を寄せられている。また、古典舞踊教室や日本の伝統を食べようは、楽しみながら健康増進と伝承文化を学べる事業として親しまれている。
財務・労務面	財務面では、施設の会計手続や予算管理が適正に行われており、経費の効果的活用が実施されている。成長性、収益性、安定性、活動性・健全性等について一部改善の必要が見受けられるが、改善される見込みがある。労務面では、雇用契約条件、実施状況、健康診断などについて法令に準じた運用を行っている。
総合評価	サービス面、労務面は良好である。財務面については、法人決算に一部課題があるが改善の見込みがあり、指定管理業務は適正であったと評価できる。

担当所管部	
部	区民生活部
課	地域振興課

平成26年度 指定管理者実績評価結果表【B施設】

施設概要

施設名	名称	尾久ふれあい館
	所在地	荒川区西尾久二丁目25番13号
指定管理者	名称	特定非営利活動法人ワーカーズコープ
	所在地	豊島区東池袋一丁目44番3号池袋 I S P タマビル
施設開設年月日		平成24年4月1日
現在の指定管理者による 運営開始年月日		平成24年4月1日
指定期間		平成24年4月1日～平成27年3月31日
業務内容	<p>乳幼児から児童・青少年・成人・高齢者まで、あらゆる世代の区民が生き生きと集い、ふれあいと相互交流の輪を広げる。 遊び・文化・スポーツ・健康づくり・教養娯楽活動等を通じて地域コミュニティの形成を図るための事業を実施する。 地域住民の自主的かつ主体的な活動を促進するための場の提供に係る事業を実施する。</p> <p>【敷地面積】741.17㎡ 【延床面積】2,223.88㎡ 【主な施設】1階…事務室、サロン、親子ふれあいひろば、授乳室・相談室 2階…プレイルーム、創作室、学童クラブ室 3階…和室1・2・3、洋室1・2・3 4階…レクホール、多目的室 5階…調理実習室 その他付属設備…だれでもトイレ、男女トイレ、更衣室、給湯室、 駐車場、駐輪場</p>	

平成26年度の事業計画

日常活動を活発にし、子どもが主体となって実行委員会での行事活動ができるよう、年間を通して子どもたちが楽しみ、幼児と保護者がいつでも安心して遊べる環境づくりを行う。

創作活動については創作室を利用し、様々な素材で遊べるものや、使えるもの、飾れるものを製作し、ものを作る楽しさを通して創造力を高める活動を行う。また、創作室を囲碁事業の場としても活用し、子どもたちと高齢者の交流を促進する。

プレイルームは、遊び場としての環境を整えると同時に、子ども同士が交流できる場とするほか、またランチタイムの場所としても開放する。

多目的室は、幼児の集団活動の場として活用するとともに、運動を中心に異年齢の子どもたちが楽しく集団遊びができるようにする。

平成26年度の事業実績

乳幼児事業では年齢別に3つのクラスで事業を行い、各クラスとも参加者からは「子育ての不安が和らいだ」と好評であった。都電を貸し切って実施する遠足のほか、運動会、クリスマス会、お別れ会など季節の行事を随時取り入れ、子どもたちの成長を感じることができるプログラムを行った。また、児童事業ではJRの現役運転手さんとの交通安全教室や新聞紙雪合戦など、子どもたちの関心を引くような事業を計画し、実施した。他にも、尾久ふれあい館まつりを実施し、利用者からなるボランティアスタッフや児童・中高生にお願いしたお祭り実行委員が協力して運営を行った。盆踊りやお化け屋敷も同時に行い、乳児から高齢者まで幅広い参加があった。

世代別入館者数	カッコ内は昨年入館者数
幼児	11,490名(11,108名)
小学生	16,919名(20,233名)
中学生	4,358名(2,555名)
大人(高校生を含む)	30,883名(30,021名)
内:高校生	1,579名(1,182名)
内:18歳以上	29,304名(28,839名)
高齢者	31,579名(37,421名)
入館者数	95,229名(101,338名)

施設決算状況

年度		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度（予算）
収入	予算	46,845,898	47,842,628	49,098,280	49,971,041
	決算	46,835,813	47,842,628	49,098,280	
支出	予算	46,845,898	47,842,628	49,098,280	49,971,041
	決算	42,198,761	47,806,361	49,037,974	
収支	予算	0	0	0	0
	決算	4,637,052	36,267	60,306	

（備考）

基本評価項目

評価項目	配点	評価		得点 (配点×乗率)
		レベル	乗率	
施設の維持管理				20
快適に利用できるための施設管理がなされている	5	5	100%	5
安全・安心に過ごすための施設管理がなされている	5	5	100%	5
危機管理・苦情・事故等の管理を徹底している	10	5	100%	10
区民サービス				66
事業に対する満足度が高い	40	4	80%	32
職員の接遇がきちんとなされている	10	4	80%	8
ポスターや館便り等の広報方法を工夫している	10	4	80%	8
幅広い事業展開を行っている	10	5	100%	10
利用者数が増加している	10	4	80%	8
合 計 (A)	100	-	-	86

その他の評価項目

評価項目	配点	評価		得点 (配点×乗率)
		レベル	乗率	
地域と連携した事業展開を行っている	5	5	100%	5
区民雇用を積極的に行っている	3	4	80%	2.4
施設全体における評価が高い	2	5	100%	2
合計 (B)	10	-	-	9.4
評価内容				
小中高生が乳幼児の遊び相手になったり絵本等の読み聞かせをするハッピーベイビータイムや利用者がボランティアスタッフとして運営するふれあい館まつりなど多世代交流事業が充実しており、利用者が主体となり利用者と一緒に事業を実施する工夫を評価する。				
改善すべき点等				
合計 (A+B)				95.4
総合評価				A

財務・労務評価表

評価項目		評価内容	評価	
収支状況・縮減努力	会計手続が適正である	決算書、科目別内訳表、事業報告書等を審査した結果、会計処理は適正に行われている。	A	A
	予算管理が適正である	予算額と決算額に大きな差額のある科目が見受けられる。	B	
	経費縮減の努力が行われている	電気代、電話料、複写機賃借料が増加している一方、清掃委託費、本部経費が減少している。	A	
法人決算	安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している	事業者の3期の決算書に基づいて財務診断した結果、成長性、収益性、安定性、活動性・健全性は良好であり、安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している。	A	
労務	労働環境が適正である	雇用契約書、賃金台帳、36協定、健康診断受診記録等を確認した結果、全ての項目が要件を満たしており、労働環境は適正である。	A	

総評

サービス面	施設の維持管理については、安全等に配慮した適正な施設管理が行われている。区民サービスについては地元商店会のおまつりや地元町会のクリスマス会などに、中高生ボランティアと一緒に企画から当日の運営までスタッフとして参加することで地域の仲間として密接な関係が作られ、継続的な繋がりができている。また乳幼児親子や高齢者向けの事業はどの事業も満員になるなど、利用者の満足度の高い良質なプログラムが組まれている。
財務・労務面	財務面では、施設の会計手続や予算管理が適正に行われており、経費の効果的活用が実施されている。指定管理者である法人は、収益性、成長性、安定性、活動性・健全性等が良好であり、安定的運営を行う財務力を有している。 労務面では、雇用契約条件、実施状況、健康診断などについて法令に準じた運用を行っている。
総合評価	サービス面、財務・労務面ともに良好であり、指定管理業務は適正であったと評価できる。

担当所管部	
部	区民生活部
課	地域振興課

平成26年度 指定管理者実績評価結果表【B施設】

施設概要

施設名	名称	西尾久ふれあい館
	所在地	荒川区西尾久八丁目33番31号
指定管理者	名称	株式会社日本デイケアセンター
	所在地	千代田区猿楽町二丁目2番3号
施設開設年月日		平成16年10月12日
現在の指定管理者による 運営開始年月日		平成16年10月12日
指定期間		平成25年4月1日～平成28年3月31日
業務内容	<p>乳幼児から児童・青少年・成人・高齢者まで、あらゆる世代の区民が生き生きと集い、ふれあいと相互交流の輪を広げる。 遊び・文化・スポーツ・健康づくり・教養娯楽活動等を通じて地域コミュニティの形成を図るための事業を実施する。 地域住民の自主的かつ主体的な活動を促進するための場の提供に係る事業を実施する。</p> <p>【敷地面積】777.68㎡ 【延床面積】1,189.16㎡ 【主な施設】1階…事務室、サロン、親子ふれあいひろば、和室1・2 2階…プレイルーム、創作室、洋室1・2、学童クラブ室 3階…多目的室 その他付属設備…だれでもトイレ、男女トイレ、給湯室、 駐車場、駐輪場</p>	

平成26年度の事業計画

乳幼児の子育て支援事業として、幼児タイム等の事業を行う。また、親子ふれあいひろばを設置し、幼児専用スペースを確保し安全に過ごせる環境を作るほか、子育て支援活動として、担当者による子育て相談を実施する。
多く子どもたちが参加できるようなサークル活動や行事を実施し、子ども同士の交流を図りながら生活体験を豊かにしていく。中高生が参加しやすい活動の充実に努め、健全な育成と交流の基点の場となるよう展開していく。
区民相互の交流と自主的活動促進の援助を行うほか、ボランティアによる各種講座を設立し、文化的生活の向上や余暇の充実が図れるように支援していく。
健康生活の支援と文化的生活の向上に寄与し、心豊かな地域社会の形成に貢献できるように努める。

平成26年度の事業実績

乳幼児事業では、子育てカウンセラーや館長による育児相談を行い、母親たちの子育てに関する悩みの解消に努めた。また、乳幼児やその保護者が友だちとの遊びや親子でふれあうことの楽しさを体験し、交流をする場として、幼児タイムや保護者がリフレッシュする内容を企画し、実施した。また、子育てに関する情報提供や育児相談等を保健師、主任児童員、民生委員、地域のボランティアの人々と連携をとり事業を展開した。
児童事業では、幼稚園児のダンスサークル「きらきらキッズ」を立ち上げて通年実施し、中高生事業では、中高生が企画した中高生サークルを年8回実施するなど、子ども同士が交流できる事業を実施した。
高齢者事業では、年間を通じて踊りやダンス、合唱等の定例活動のほか、高齢者同士の親睦を図れるよう「大人の遠足」等を実施した。

世代別入館者数	カッコ内は昨年入館者数
幼児	15,161名(15,949名)
小学生	11,112名(12,191名)
中学生	2,502名(2,400名)
大人(高校生を含む)	15,946名(16,515名)
内:高校生	504名(649名)
内:18歳以上	15,442名(15,866名)
高齢者	10,463名(10,652名)
入館者数	55,184名(57,707名)

施設決算状況

年度		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度（予算）
収入	予算	44,646,935	45,022,522	47,175,817	47,762,796
	決算	44,646,935	45,022,522	47,175,817	
支出	予算	44,646,935	45,022,522	47,175,817	47,762,796
	決算	42,469,788	40,959,715	42,416,977	
収支	予算	0	0	0	0
	決算	2,177,147	4,062,807	4,758,840	

（備考）

基本評価項目

評価項目	配点	評価		得点 (配点×乗率)
		レベル	乗率	
施設の維持管理				17
快適に利用できるための施設管理がなされている	5	3	60%	3
安全・安心に過ごすための施設管理がなされている	5	4	80%	4
危機管理・苦情・事故等の管理を徹底している	10	5	100%	10
区民サービス				60
事業に対する満足度が高い	40	3	60%	24
職員の接遇がきちんとなされている	10	4	80%	8
ポスターや館便り等の広報方法を工夫している	10	5	100%	10
幅広い事業展開を行っている	10	5	100%	10
利用者数が増加している	10	4	80%	8
合 計 (A)	100	-	-	77

その他の評価項目

評価項目	配点	評価		得点 (配点×乗率)
		レベル	乗率	
地域と連携した事業展開を行っている	5	5	100%	5
区民雇用を積極的に行っている	3	4	80%	2.4
施設全体における評価が高い	2	3	60%	1.2
合計 (B)	10	-	-	8.6
評価内容				
高齢者デイサービス施設に「ミニボランティア実行委員会」の小学生の訪問や地元町会の協力のもと実施する乳幼児事業の「おもちつき」など地域活動の拠点として積極的に取り組む姿勢を評価する。				
改善すべき点等				
合計 (A+B)				85.6
総合評価				A

財務・労務評価表

評価項目		評価内容	評価	
収支状況・縮減努力	会計手続が適正である	決算書、科目別内訳表、事業報告書等を審査した結果、会計処理は適正に行われている。	A	A
	予算管理が適正である	予算・決算、前年決算等と比較して収入・支出・収支差は少なく、予算管理は適正である。	A	
	経費縮減の努力が行われている	本部経費の縮減、ゴミの出し方の工夫などにより、経費が削減されている。	A	
法人決算	安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している	事業者の3期の決算書に基づいて財務診断した結果、成長性、収益性、安定性、活動性・健全性は良好であり、安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している。	A	
労務	労働環境が適正である	雇用契約書、賃金台帳、36協定、健康診断受診記録等を確認した結果、全ての項目が要件を満たしており、労働環境は適正である。	A	

総評

サービス面	施設の維持管理については、安全等に配慮した適正な施設管理が行われている。区民サービスについては、ミニコミ誌サークルの小学生が地域イベントを主催する団体の取材から交流が始まり、スタッフとしてあらかわハロウィンに参加するなど、館の事業が地域活動に参加するきっかけとなっている。またふれあい館まつりをはじめ各事業において、幼児ダンスサークルと高齢者事業レクダンスの参加者が一緒に踊るなど、世代間交流を積極的に行っている。
財務・労務面	財務面では、施設の会計手続や予算管理が適正に行われており、経費の効果的活用が実施されている。指定管理者である法人は、収益性、成長性、安定性、活動性・健全性等が良好であり、安定的運営を行う財務力を有している。 労務面では、雇用契約条件、実施状況、健康診断などについて法令に準じた運用を行っている。
総合評価	サービス面、財務・労務面ともに良好であり、指定管理業務は適正であったと評価できる。

担当所管部	
部	区民生活部
課	地域振興課

平成26年度 指定管理者実績評価結果表【B施設】

施設概要		
施設名	名称	東日暮里ふれあい館
	所在地	荒川区東日暮里一丁目17番13号
指定管理者	名称	学校法人道灌山学園
	所在地	荒川区西日暮里四丁目7番15号
施設開設年月日		平成17年4月1日
現在の指定管理者による運営開始年月日		平成17年4月1日
指定期間		平成26年4月1日～平成29年3月31日
業務内容	<p>乳幼児から児童・青少年・成人・高齢者まで、あらゆる世代の区民が生き生きと集い、ふれあいと相互交流の輪を広げる。 遊び・文化・スポーツ・健康づくり・教養娯楽活動等を通じて地域コミュニティの形成を図るための事業を実施する。 地域住民の自主的かつ主体的な活動を促進するための場の提供に係る事業を実施する。</p> <p>【敷地面積】都営東日暮里1丁目アパート内 【延床面積】1,176.87㎡ 【主な施設】1階…事務室、サロン、和室1・2、洋室1・2、音楽室 2階…プレイルーム（親子ふれあいひろば）、創作室、多目的室、学童クラブ室 その他付属設備…だれでもトイレ、男女トイレ、相談室</p>	

平成26年度の事業計画

乳幼児から児童、青少年、成人、高齢者まで、あらゆる世代の区民が生き生きと集う、ふれあいと相互交流の場を提供する。
地域住民の自主的かつ主体的な活動を促進するための場を提供する。
遊び、文化、スポーツ、健康づくり、教養娯楽活動等を通じて、地域コミュニティの形成を図る。
利用者のニーズに応え参加しやすい事業展開を図ることで利用の拡大に努める。
各関係機関、地域との連携を取り、安全・安心な環境づくりに努める。

平成26年度の事業実績

乳幼児事業では、幼児タイムの参加希望者がより多く参加できるよう、活動場所などを検討して対応し、内容もよく吟味して親子参加型や季節を意識した行事など、参加者が楽しいと思える事業となるよう工夫した。
児童事業では、異年齢、他校との友達づくりやその関わりの中で互いの成長を促すよう事業を展開した。また、「こども会議」や「デイキャンプ」などの大型行事を行う際には子どもたちの中から実行委員を決め、子どもたちが自分たちの意見を出し合い実施した。
中高生事業としては、中高生活動支援として音楽室を開放し、ドラムセットやアンプ等を新規に設置するなど、音楽活動やダンス等の練習を支援した。

世代別入館者数	カッコ内は昨年入館者数
幼児	15,524名(12,680名)
小学生	19,670名(20,135名)
中学生	1,270名(618名)
大人(高校生を含む)	18,702名(15,144名)
内:高校生	105名(50名)
内:18歳以上	18,597名(15,094名)
高齢者	7,257名(6,658名)
入館者数	62,423名(55,235名)

施設決算状況

年度		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度（予算）
収入	予算	44,568,238	44,832,264	46,291,078	46,476,404
	決算	44,467,843	44,832,264	46,291,078	
支出	予算	44,568,238	44,832,264	46,291,078	46,476,404
	決算	44,434,638	43,987,397	45,794,654	
収支	予算	0	0	0	0
	決算	33,205	844,867	496,424	

（備考）

基本評価項目

評価項目	配点	評価		得点 (配点×乗率)
		レベル	乗率	
施設の維持管理				19
快適に利用できるための施設管理がなされている	5	4	80%	4
安全・安心に過ごすための施設管理がなされている	5	5	100%	5
危機管理・苦情・事故等の管理を徹底している	10	5	100%	10
区民サービス				80
事業に対する満足度が高い	40	5	100%	40
職員の接遇がきちんとなされている	10	5	100%	10
ポスターや館便り等の広報方法を工夫している	10	5	100%	10
幅広い事業展開を行っている	10	5	100%	10
利用者数が増加している	10	5	100%	10
合 計 (A)	100	-	-	99

その他の評価項目

評価項目	配点	評価		得点 (配点×乗率)
		レベル	乗率	
地域と連携した事業展開を行っている	5	5	100%	5
区民雇用を積極的に行っている	3	4	80%	2.4
施設全体における評価が高い	2	5	100%	2
合計 (B)	10	-	-	9.4
評価内容				
隣接する保育園の園児と高齢者事業の参加者が年間を通じ交流を行っており、季節行事やふれあい館・保育園の行事へ互いに参加するなど地域と連携した多世代交流を積極的に実施することで、出会いやふれあいを促進し地域に根ざした施設運営を行っている点を評価する。				
改善すべき点等				
合計 (A+B)				108.4
総合評価				S

財務・労務評価表

評価項目		評価内容	評価	
収支状況・縮減努力	会計手続が適正である	決算書、科目別内訳表、事業報告書等を審査した結果、会計処理は適正に行われている。	A	B
	予算管理が適正である	予算額と決算額に大きな差額のある科目が見受けられる。	B	
	経費縮減の努力が行われている	光熱水費が予算額を上回るなど管理費の縮減が課題である。	B	
法人決算	安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している	事業者の3期の決算書に基づいて財務診断した結果、成長性、収益性、安定性、活動性・健全性は良好であり、安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している。	A	
労務	労働環境が適正である	雇用契約書、賃金台帳、36協定、健康診断受診記録等を確認した結果、全ての項目が要件を満たしており、労働環境は適正である。	A	

総評

サービス面	施設の維持管理については、安全等に配慮した適正な施設管理が行われている。区民サービスについては、館の大きな行事は小学生が実行委員となり行事運営の中心的な役割を担っている。この実行委員の経験がきっかけとなり、デイキャンプやお泊り会などをサポートする中学生が増えている。また、地元町会主催の盆踊り大会において、浴衣着付け教室や盆踊り練習会など行事と連携した事業を展開し地域に根ざした館の取り組みを高く評価する。
財務・労務面	財務面では、施設の会計手続や予算管理が適正に行われているが、予算管理や経費縮減について一部課題がある。指定管理者である法人は、収益性、成長性、安定性、活動性・健全性等が良好であり、安定的運営を行う財務力を有している。 労務面では、雇用契約条件、実施状況、健康診断などについて法令に準じた運用を行っている。
総合評価	サービス面は大変良好であり、労務面についても良好である。財務面については、一部課題があるが改善の見込みがあり、指定管理業務は適正であったと評価できる。

担当所管部	
部	区民生活部
課	地域振興課

平成26年度 指定管理者実績評価結果表【B施設】

施設概要		
施設名	名称	夕やけこやけふれあい館
	所在地	荒川区東日暮里三丁目11番19号
指定管理者	名称	社会福祉法人教信精舎
	所在地	荒川区西尾久六丁目9番7号
施設開設年月日		平成25年4月1日
現在の指定管理者による運営開始年月日		平成25年4月1日
指定期間		平成25年4月1日～平成30年3月31日
業務内容	<p>乳幼児から児童・青少年・成人・高齢者まで、あらゆる世代の区民が生き生きと集い、ふれあいと相互交流の輪を広げる。 遊び・文化・スポーツ・健康づくり・教養娯楽活動等を通じて地域コミュニティの形成を図るための事業を実施する。 地域住民の自主的かつ主体的な活動を促進するための場の提供に係る事業を実施する。</p> <p>【敷地面積】1,966.77㎡ 【延床面積】1,570.00㎡ 【主な施設】3階…事務室、サロン、親子ふれあいひろば、プレイルーム、創作室、洋室1・2、和室1・2、授乳室 4階…多目的室、レクリエーションホール その他付属設備…だれでもトイレ、男女トイレ、給湯室、駐車場、駐輪場</p>	

平成26年度の事業計画

事業計画は以下の5本柱をもとに体系化する。

- 「区民の幸福実感と地域活性化を推進する、日暮里地区における拠点施設となる」
- 「歴史と文化、布の街、ものづくりの街など日暮里を学び発信する施設をつくる」
- 「区内初の保育園併設ふれあい館としての特色を生かした施設運営を目指す」
- 「地域の団体やグループ活動の支援と交流拠点となる開かれた施設運営を目指す」
- 「3A（安全・安心・明るい）5S（整理・整頓・清掃・清潔・躰）が行き届いた施設運営を目指す」

平成26年度の事業実績

乳幼児事業では、親子のふれあいをテーマにしたリトミックや読み聞かせ、運動遊びなどを実施して楽しいひと時を過ごせるよう努めた。また、母親向けに託児付ママピラティスを開くなど、リフレッシュや母親同士の交流の場を提供した。

子どもたちの心と身体の健康増進を図るため、ダンスサークル「カラーズ」や手話音楽サークル活動を継続的に実施し、発表機会の拡充に努めた。

多世代交流事業では、街に出てウォーキングをしたり、音楽を聴いたり、楽しい娯楽の時間を過ごすために「にっぽり・やなか散策」を実施し、非常に好評であった。

世代別入館者数	カッコ内は昨年入館者数
幼児	14,399名(9,342名)
小学生	16,172名(17,262名)
中学生	2,356名(2,297名)
大人(高校生を含む)	17,507名(10,483名)
内:高校生	297名(182名)
内:18歳以上	17,210名(10,301名)
高齢者	15,729名(7,727名)
入館者数	66,163名(47,111名)

施設決算状況

年度		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度（予算）
収入	予算		46,060,288	48,751,220	48,445,724
	決算		46,096,580	48,762,969	
支出	予算		46,060,288	48,751,220	48,445,724
	決算		46,096,580	48,762,969	
収支	予算		0	0	0
	決算		0	0	

（備考）

基本評価項目

評価項目	配点	評価		得点 (配点×乗率)
		レベル	乗率	
施設の維持管理				20
快適に利用できるための施設管理がなされている	5	5	100%	5
安全・安心に過ごすための施設管理がなされている	5	5	100%	5
危機管理・苦情・事故等の管理を徹底している	10	5	100%	10
区民サービス				76
事業に対する満足度が高い	40	5	100%	40
職員の接遇がきちんとなされている	10	4	80%	8
ポスターや館便り等の広報方法を工夫している	10	4	80%	8
幅広い事業展開を行っている	10	5	100%	10
利用者数が増加している	10	5	100%	10
合 計 (A)	100	-	-	96

その他の評価項目

評価項目	配点	評価		得点 (配点×乗率)
		レベル	乗率	
地域と連携した事業展開を行っている	5	5	100%	5
区民雇用を積極的に行っている	3	5	100%	3
施設全体における評価が高い	2	5	100%	2
合計 (B)	10	-	-	10
評価内容 子育て中のママの心身のリフレッシュに積極的に取り組んでおり、託児サービスのあるママピラティスなどの充実した事業に定評があり、親子ふれあいひろばや巡回育児相談など、子育て情報の交換や助け合える関係を構築できる環境づくりを推進している点を評価する。				
改善すべき点等 				
合計 (A+B)				106
総合評価				S

財務・労務評価表

評価項目		評価内容	評価	
収支状況・縮減努力	会計手続が適正である	決算書、科目別内訳表、事業報告書等を審査した結果、会計処理は適正に行われている。	A	A
	予算管理が適正である	予算・決算、前年決算等と比較して収入・支出・収支差は少なく、予算管理は適正である。	A	
	経費縮減の努力が行われている	本部経費を増額した一方、節電、日常清掃を職員が行っている。	A	
法人決算	安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している	事業者の3期の決算書に基づいて財務診断した結果、成長性、収益性、安定性、活動性・健全性は良好であり、安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している。	A	
労務	労働環境が適正である	雇用契約書、賃金台帳、36協定、健康診断受診記録等を確認した結果、全ての項目が要件を満たしており、労働環境は適正である。	A	

総評

サービス面	施設の維持管理については、安全等に配慮した適正な施設管理が行われている。区民サービスではにっぽりを学び伝承するをテーマに荒川区観光ボランティアと行くにっぽり・やなか散策、日暮里地区の指物師が講師の箸づくり教室、併設する保育園の園庭で行われたおすもうさんの餅つきと相撲甚句など伝統文化に身近に触れる事業が充実している。地域を知ることにより、入館者数前年比で140%増加するなど、積極的な館運営について高く評価する。
財務・労務面	財務面では、施設の会計手続や予算管理が適正に行われており、経費の効果的活用が実施されている。指定管理者である法人は、収益性、成長性、安定性、活動性・健全性等が良好であり、安定的運営を行う財務力を有している。 労務面では、雇用契約条件、実施状況、健康診断などについて法令に準じた運用を行っている。
総合評価	サービス面は大変良好であり、財務・労務面についても良好である。指定管理業務は適正であったと評価できる。

担当所管部	
部	区民生活部
課	地域振興課

平成26年度 指定管理者実績評価結果表【B施設】

施設概要

施設名	名称	西日暮里ふれあい館
	所在地	荒川区西日暮里六丁目24番4号
指定管理者	名称	学校法人道灌山学園
	所在地	荒川区西日暮里四丁目7番15号
施設開設年月日		平成20年4月1日
現在の指定管理者による 運営開始年月日		平成20年4月1日
指定期間		平成26年4月1日～平成29年3月31日
業務内容	<p>乳幼児から児童・青少年・成人・高齢者まで、あらゆる世代の区民が生き生きと集い、ふれあいと相互交流の輪を広げる。 遊び・文化・スポーツ・健康づくり・教養娯楽活動等を通じて地域コミュニティの形成を図るための事業を実施する。 地域住民の自主的かつ主体的な活動を促進するための場の提供に係る事業を実施する。</p> <p>【敷地面積】776.20㎡ 【延床面積】1,261.63㎡ 【主な施設】1階…事務室、サロン、和室1・2 2階…創作室、プレイルーム（親子ふれあいひろば）、洋室1・2、音楽室 3階…多目的室 その他付属設備…だれでもトイレ、男女トイレ、相談室、壁面緑化パネル</p>	

平成26年度の事業計画

乳幼児から児童、青少年、成人、高齢者まで、あらゆる世代の区民が生き生きと集う、ふれあいと相互交流の場を提供する。
地域住民の自主的かつ主体的な活動を促進するための場を提供する。
遊び、文化、スポーツ、健康づくり、教養娯楽活動等を通じて、地域コミュニティの形成を図る。

平成26年度の事業実績

日暮里地域演芸会やにっぽりタヤけ文化祭に参加し、舞踊やダンス、カラオケや詩吟などの発表を行い、地域コミュニティの活性化に貢献した。
乳幼児事業では、利用者の需要に対応するために幼児タイムを7クラス実施し、多くの乳幼児を受け入れることが出来る体制を整えた。また、「パパとあそぼう」など父親が参加できる行事を充実し、子育てに楽しく参加できるよう支援を行った。
児童事業では、ダンスサークル「JUMP」が人気サークルに成長し、東京都児童館交歓フェアや川の手あらかわまつり等で発表を行い、好評を得た。

世代別入館者数	カッコ内は昨年入館者数
幼児	17,215名(16,852名)
小学生	6,139名(8,272名)
中学生	2,178名(736名)
大人(高校生を含む)	21,224名(22,522名)
内:高校生	98名(312名)
内:18歳以上	21,126名(22,210名)
高齢者	8,338名(7,991名)
入館者数	55,094名(56,373名)

施設決算状況

年度		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度（予算）
収入	予算	44,467,843	44,706,721	46,724,021	46,948,581
	決算	44,467,843	44,706,721	46,724,021	
支出	予算	44,467,843	44,706,721	46,724,021	46,948,581
	決算	44,434,638	44,316,152	45,975,329	
収支	予算	0	0	0	0
	決算	33,205	390,569	748,692	0

（備考）

基本評価項目

評価項目	配点	評価		得点 (配点×乗率)
		レベル	乗率	
施設の維持管理				20
快適に利用できるための施設管理がなされている	5	5	100%	5
安全・安心に過ごすための施設管理がなされている	5	5	100%	5
危機管理・苦情・事故等の管理を徹底している	10	5	100%	10
区民サービス				74
事業に対する満足度が高い	40	5	100%	40
職員の接遇がきちんとなされている	10	5	100%	10
ポスターや館便り等の広報方法を工夫している	10	4	80%	8
幅広い事業展開を行っている	10	4	80%	8
利用者数が増加している	10	4	80%	8
合 計 (A)	100	-	-	94

その他の評価項目

評価項目	配点	評価		得点 (配点×乗率)
		レベル	乗率	
地域と連携した事業展開を行っている	5	5	100%	5
区民雇用を積極的に行っている	3	4	80%	2.4
施設全体における評価が高い	2	5	100%	2
合計 (B)	10	-	-	9.4
評価内容 幼児タイムにおけるアイデアあふれる充実したプログラムや丁寧な指導が好評であり、夏休み等における異年齢の子どもたちと交流を図るアイアイタイムなど、子どもたちが安心して過ごせる館の取り組みについて評価する。				
改善すべき点等 				
合計 (A+B)				103.4
総合評価				S

財務・労務評価表

評価項目		評価内容	評価	
収支状況・縮減努力	会計手続が適正である	決算書、科目別内訳表、事業報告書等を審査した結果、会計処理は適正に行われている。	A	B
	予算管理が適正である	予算額と決算額に大きな差額のある科目が見受けられる。	B	
	経費縮減の努力が行われている	光熱水費が予算額を上回るなど管理費の縮減が課題である。	B	
法人決算	安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している	事業者の3期の決算書に基づいて財務診断した結果、成長性、収益性、安定性、活動性・健全性は良好であり、安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している。	A	
労務	労働環境が適正である	雇用契約書、賃金台帳、36協定、健康診断受診記録等を確認した結果、全ての項目が要件を満たしており、労働環境は適正である。	A	

総評

サービス面	施設の維持管理については、安全等に配慮した適正な施設管理が行われている。区民サービスについては、丁寧な指導で人気のある乳幼児事業をはじめ、人気サークルに育てあげた「JUMP」の活動や地元商店街で実施するハロウィーンパレードを地域ぐるみの大型行事に発展させ、地域の活性化を生み出すなど、地域活動の拠点としての館の積極的な取り組みについて高く評価する。
財務・労務面	財務面では、施設の会計手続や予算管理が適正に行われているが、予算管理や経費縮減について一部課題がある。指定管理者である法人は、収益性、成長性、安定性、活動性・健全性等が良好であり、安定的運営を行う財務力を有している。 労務面では、雇用契約条件、実施状況、健康診断などについて法令に準じた運用を行っている。
総合評価	サービス面は大変良好であり、労務面についても良好である。財務面については、一部課題があるが改善の見込みがあり、指定管理業務は適正であったと評価できる。

担当所管部	
部	区民生活部
課	地域振興課

平成26年度 指定管理者実績評価結果表【B施設】

施設概要		
施設名	名称	荒川区立町屋文化センター
	所在地	荒川区荒川7-20-1
指定管理者	名称	公益財団法人 荒川区芸術文化振興財団
	所在地	荒川区荒川7-20-1
施設開設年月日		昭和63年11月1日
現在の指定管理者による運営開始年月日		平成18年4月1日
指定期間		平成27年4月1日～平成30年3月31日
業務内容		生涯学習の推進と地域文化の振興を図ることを目的として、文化・カルチャー講座の開催、区民の学習、文化活動に役立つ情報提供や相談業務、施設の案内等を行う。 【施設概要】 会議室4室（33人～45人）、多目的ホール（154人）、音楽練習室、ふれあい広場
平成26年度の事業計画		
<ul style="list-style-type: none"> ・区民の学習・文化活動の場を提供し、生涯学習の推進と地域文化の振興を図る。 ・カルチャー講座では、絵画や音楽、外国語など幅広いジャンルの講座を実施する。 ・自主事業として、利用者や地域住民が自由に鑑賞できる「なないろひろば」や「一日文化体験フェア」等を開催し、普段あまり来館しない利用者層にも足を運んでもらうきっかけ作りとする。 ・26年度も昨年度と同様に年2回のアンケートのほか、意見箱・懇親会等により、時期によって異なる要望を把握し、利用者のニーズに合ったサービスを提供する。 ・貸出施設及び館内の案内・施設問合せ対応・各種講座・清掃業務・機械設備等点検業務を適切に実施する。 		
平成26年度の事業実績		
<ul style="list-style-type: none"> ・カルチャー講座では672講座を実施し、受講者は4,784人であった。 ・26年度は25年度に引き続き自主事業として「なないろひろば」「一日文化体験フェア」等を開催し、コンサート・能楽ワークショップ・絵手紙コンテストなど、講座の受講者募集のみならず、幅広い年齢層の区民に親んでもらえるよう努めた。 ・貸出施設及び館内の案内・施設等問合せ対応・各種講座・清掃業務・機械設備等点検業務を適切に実施した。 ・朝礼等により職員及び再委託先との情報共有に努め、サービスの向上を図った。 		

施設決算状況

年度		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度（予算）
収入	予算	36,207,000	36,207,000	36,906,000	37,892,000
	決算	37,130,517	37,164,284	37,710,828	
支出	予算	36,207,000	36,207,000	36,906,000	37,892,000
	決算	36,949,645	36,869,599	36,892,068	
収支	予算	0	0	0	0
	決算	180,872	294,685	818,760	0

（備考）

基本評価項目

評価項目	配点	評価		得点
		レベル	乗率	配点×乗率
区民サービス	70			56
施設利用等の満足度が高い	30	4	80%	24
防災計画に明示されている訓練等を行っている	20	4	80%	16
事故・苦情の再発防止に向けた取組を行っている	20	4	80%	16
施設の維持管理	30			22
快適に利用できるための施設管理がなされている	10	4	80%	8
業務遂行に必要な職員が配置されている	10	4	80%	8
研修計画に基づいた職員の受講がなされている	10	3	60%	6
合 計 (A)	100	-	-	78

評価内容<区民サービス>

施設利用等の満足度が高い	<p>・利用者アンケートは10～11月に1回実施し、施設利用については、全体の約35%が「利用しやすい」と回答し、4.3%が「やや利用しやすい」、約48%が「普通」と回答している。また、職員の対応については、利用者の約79%が「とても良い」または「良い」、18%が「普通」と回答している。前年度と比べて、数値はいずれも上昇しており、サービスの向上が認められた。</p>
防災計画に明示されている訓練等を行っている	<p>・地震・火災・侵入者への対応等、事例ごとの対応マニュアルを作成している。</p> <p>・イーストヒル町屋管理組合と合同で防災訓練を2回実施し、大地震を想定した避難誘導の実施、消火器による消火訓練、階段避難器具の操作訓練など、実践的な訓練を行った。</p>
事故・苦情の再発防止に向けた取組を行っている	<p>・利用者からの「施設・設備が古い」、「多目的ホールの床が汚れやすい」などの意見に対し、順次、机・椅子等の設備を更新したり、ワックスの種類を変えたりするなどの工夫をして対応している。</p> <p>・受付窓口が2階にある施設配置を踏まえ、1階フロア（トイレ等）での不審者対策など、安全管理への対応が求められる。</p>

評価内容<施設の維持管理>				
快適に利用できるための施設管理がなされている	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日常及び月別点検を行っているほか、エレベーターや自動ドア、ピアノ等設備の保守点検、防火対象物点検等の委託業務について、適切に行っていることを報告書等で確認している。また、環境配慮の一環として、夏季に緑のカーテンを実施するなど、快適で利用しやすい施設づくりに努めている。 			
業務遂行に必要な職員が配置されている	<ul style="list-style-type: none"> ・ 町屋文化センターの指定管理は、公益財団法人荒川区芸術文化振興財団管理系の事務の一部として実施されており、業務に必要な職員が配置されている。また、主担当職員のほか、事業実施等の際は、係員全員で対応できる体制づくりに取り組んでいる。 			
研修計画に基づいた職員の受講がなされている	<ul style="list-style-type: none"> ・ 朝礼などのOJTの実施に加えて、外部講師による接遇研修等を実施するべきである。 ・ 職員は、来館者の緊急事態に対応できるよう上級救命講習を定期的に受講している。 			
その他の評価項目				
評価項目	配点	評価		得点
		レベル	乗率	配点×乗率
地域との協働内容	5	4	80%	4
区内事業者の活用	5	3	60%	3
合 計 (A)		10	-	7
評価内容				
地域との協働内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「バラの市盛り上げ隊」への参加や「一日文化体験フェア」への地元商店の参加・協賛の呼びかけなど、地域に密着した施設づくりを行った。 ・ 「なないろひろば」や「ふれあいミニコンサート」等を引き続き開催し、近隣区民が気軽に立ち寄れる事業の充実を図っている。 			
区内事業者の活用	<ul style="list-style-type: none"> ・ 26年度は12の再委託業務のうち7業務について区内の業者に再委託した。 ・ 修繕工事や消耗品の購入においても、区内業者を活用するよう配慮している。 			
改善すべき点等				
合計 (A+B)				85
総合評価				A

財務・労務評価表

評価項目		評価内容	評価	
収支状況・縮減努力	会計手続が適正である	決算書、科目別内訳表、事業報告書等が適正に作成されており、経費計算の精度向上に向けた努力が見られる	S	S
	予算管理が適正である	カルチャー講座収入の増加による収入改善により、収支差額が過年度に比べ向上している。	S	
	経費縮減の努力が行われている	一部経費に予算超過があるが合理的な理由が示され、また経費削減努力が見られる。	A	
法人決算	安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している	健全な財務力と高い安定性を有しており、安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している。	A	
労務	労働環境が適正である	雇用契約書、賃金台帳の一覧、36協定、健康診断の受診記録等を確認した結果、全ての項目が要件を満たしており、労務環境は適切である。	A	

総評

サービス面	<ul style="list-style-type: none"> 施設利用及び職員対応等に関するアンケートを実施し、利用者のニーズの把握と迅速な対応に努めている。26年度は、アンケート結果を踏まえて、再委託先職員との打合せを行うなどにより、接遇の改善を図った。 区民が気軽に参加できる「1日文化体験フェア」に加え、コンサートや落語、講演会など多彩な内容の催しに無料で参加できる「なないろひろば」等の自主事業により、これまで施設を利用したことがない区民の来所を促すなど、利用者層の拡大を図っている。 利用しやすく安全な施設の管理運営に努めながら、指定管理事業、自主事業を通じて、生涯学習や芸術文化鑑賞、区民の交流の場の創出、利用率向上に向けて努力していると評価できる。
財務・労務面	<p>財務面について、施設の会計手続や予算管理は概ね適正である。また指定管理者である公益財団法人荒川区芸術文化振興財団は、収益性、成長性、安定性、活動性・健全性等がいずれも良好であり、安定的な財務力を有している。</p> <p>また労務面については、雇用契約条件・実施内容、健康診断受診状況等、法令に基づいた運用を適正に行っている。</p>
総合評価	<p>サービス面、財務・労務面ともに良好であり、指定管理業務は適正であったと評価できる。また、昨年と比較して、接遇の改善や事業内容の工夫がなされ、適正な運営が行われている。</p>

担当所管部	
部	地域文化スポーツ部
課	生涯学習課

平成26年度 指定管理者実績評価結果表【B施設】

施設概要		
施設名	名称	荒川区立生涯学習センター
	所在地	荒川区荒川3-49-1
指定管理者	名称	株式会社 読売・日本テレビ文化センター
	所在地	江東区清澄1-2-1
施設開設年月日		平成9年7月1日
現在の指定管理者による運営開始年月日		平成18年4月1日
指定期間		平成27年4月1日～平成30年3月31日
業務内容	<p>区民の生涯にわたる学習の場の提供や、多様化する学習要望への対応として、区民のニーズを考慮しながら講座を開催するとともに、生涯学習の情報提供、学習相談など、学習活動の推進を図る。</p> <p>【施設概要】 会議室5室（30人～80人）、音楽室（40人）、多目的室（60人）、コンピューター室、学習室、情報提供コーナー、体育館、多目的広場</p>	

平成26年度の事業計画

- ・「区民カレッジ」は、多くの受講者の要望に応えられるよう、新講座の開設とともに、過去の講座についてより内容を深めたり、異なった視点で楽しめるような講座を検討する。春と秋に実施する特別講演会については、より多くの方が参加できるよう、会場をサンパール荒川小ホールに移して実施する。
- ・「IT講習会」は、初歩的な講座より実践的な内容を求める傾向が強くなっていることから、「エクセルの表計算」や「パワーポイント」「ブログ」「年賀状作成」などの実用講座を増やし、区民のパソコンスキルの向上を支援していく。
- ・「日常業務」においては、施設管理について、経年劣化の見られる設備に対して必要に応じて計画的に修繕を行う。受付業務について、来館者の要望に迅速に対応するため、新たに館内に「要望・意見箱」を新設する。また、引き続き5月から11月まで事務所窓口のガラスを外すなど、顔の見える対応を徹底する。

平成26年度の事業実績

- ・「区民カレッジ」は、著名な外国人講師による講座（森から見る未来）など、新たな取組を実施し、全ての講座で定員を超える申込みがあった。年間受講者数は、前年度に比べて341人増加し3,921人となった。（講座実施数：57回）
- ・「IT講習会」は、昨年に引き続き、1人ひとりの受講者のニーズに対応するために、段階的な講座構成により実施し、同時に、実践的講座を増やした。（実施数51講座・受講者数2,623人）
- ・「日常業務」では、施設管理として、正面ブロック塀の改修工事等を実施した。また、受付業務について、昨年に引き続き、マナー講師を招いての接客研修を実施したほか、5月から11月の間は事務所窓口のガラス戸を外す、緑のカーテンで実ったゴーヤを希望者へ配付するなど、接遇の向上と利用者に親しまれる雰囲気づくりに努めた。

施設決算状況

年度		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度（予算）
収入	予算	62,454,000	64,764,000	64,188,000	63,222,000
	決算	62,461,341	65,038,644	64,490,072	-
支出	予算	62,454,000	64,764,000	64,188,000	63,222,000
	決算	61,228,453	64,531,467	63,623,355	-
収支	予算	0	0	0	-
	決算	1,232,888	507,177	866,717	-

（備考）

基本評価項目

評価項目	配点	評価		得点
		レベル	乗率	配点×乗率
区民サービス	70			56
施設利用等の満足度が高い	30	4	80%	24
防災計画に明示されている訓練等を行っている	20	4	80%	16
事故・苦情の再発防止に向けた取組を行っている	20	4	80%	16
施設の維持管理	30			20
快適に利用できるための施設管理がなされている	10	4	80%	8
業務遂行に必要な職員が配置されている	10	3	60%	6
研修計画に基づいた職員の受講がなされている	10	3	60%	6
合 計 (A)	100	-	-	76

評価内容＜区民サービス＞

施設利用等の満足度が高い	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者アンケート結果では、「非常に良い」「良い」との回答の合計が、受付対応について全体の約71%となり、前年より約4%増加した。電話対応については全体の約50%となり、前年より2%増加した。2年連続して評価が上昇しており、サービスの向上が認められる。 ・区民カレッジは、講座内容に工夫が見られ、受講者数も2年連続して増加するなど好評である。
防災計画に明示されている訓練等を行っている	<ul style="list-style-type: none"> ・荒川区立生涯学習センター自衛消防隊火災総合訓練実地要綱に基づき、教育センター等と合同で防災訓練を実施した。センター内での出火を想定し、館内放送、避難誘導、消火器操作、館内の防火設備の確認等を行った。
事故・苦情の再発防止に向けた取組を行っている	<ul style="list-style-type: none"> ・事故や苦情は区に迅速に報告し、区と協力して事態の把握と再発防止の対応を行っている。

評価内容<施設の維持管理>				
快適に利用できるための施設管理がなされている	<ul style="list-style-type: none"> ・清掃業務、エレベーター保守点検業務等は、業務委託により実施されており、報告等で適切に行われていることを確認している。 ・26年度は、修繕工事として、正門ブロック塀、屋外トイレ排水管改修工事等を行った。 			
業務遂行に必要な職員が配置されている	<ul style="list-style-type: none"> ・平日の日中の窓口業務や事務、施設全体の管理運営、緊急時の対応等の業務については常勤職員が行っている。夜間・休日の窓口業務は、パートやシルバー人材センターの委託職員が行っている。 ・夜間や休日の窓口体制については、危機管理の観点から改善を図るべきである。 			
研修計画に基づいた職員の受講がなされている	<ul style="list-style-type: none"> ・接遇研修は、前年度に引き続きマナー講師を招いた研修を実施し、職員全員が受講した。ジャンパー着用等による意識向上や、窓口配置の改善等により接遇の向上を行っており、今後も継続的な取組が望まれる。 			
その他の評価項目				
評価項目	配点	評価		得点
		レベル	乗率	配点×乗率
地域との協働内容	5	5	100%	5
区内事業者の活用	5	3	60%	3
合 計 (A)		10	-	8
評価内容				
地域との協働内容	<ul style="list-style-type: none"> ・シルバー人材センターを活用するとともに、パート職員において区民を積極的に採用している。26年度3月期パート職員12人のうち9人(75%)が区民であった。 ・多目的広場について、近隣保育園の遊び場、町会行事の活動場所として提供しているほか、地元町会と一緒に防災訓練を行うなど、地域と連携しながら運営している。 			
区内事業者の活用	<ul style="list-style-type: none"> ・26年度は12の再委託業務のうち7業務について区内の業者に再委託した。 ・修繕工事や消耗品の購入においても、区内業者を活用するよう配慮している。 			
改善すべき点等				
合計 (A+B)				84
総合評価				A

財務・労務評価表

評価項目		評価内容	評価	
収支状況・縮減努力	会計手続が適正である	決算書、科目別内訳表、事業報告書等が適正に作成されており、加えて詳細な経費積算資料が作成されている。	S	S
	予算管理が適正である	一部計画外の支出が見られたが、合理的な理由と改善の見込みが示された。	A	
	経費縮減の努力が行われている	経費削減努力の結果、支出合計の実績額が予算額を下回り、また収支差額が前年度より改善した。	S	
法人決算	安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している	健全な収益力を有し、内部留保の蓄積が進んで、安全性を含めた総合的な財務力の強化が進んでいる。	A	
労務	労働環境が適正である	雇用契約書、賃金台帳の一覧、36協定、健康診断の受診記録等を確認した結果、全ての項目が要件を満たしており、労務環境は適切である。	A	

総評

サービス面	<p>・区民カレッジは、新たな分野の講座を実施するとともに、講座内容の充実を図っており、講座応募者数も前年度比9.5%増となった。このことは「より幅広い区民に生涯学習の機会を提供し、区民の学習意欲を刺激し、豊かな人生の実現に貢献する」という事業計画を実現したものと評価できる。</p> <p>・事務所窓口のガラス戸を外して受付業務を行うなど、利用者が親しみやすい施設づくりを進めるとともに、接遇の向上に努めた結果、利用者アンケートの結果でも受付対応、電話対応とも2年連続して評価が上昇しており、区民サービスが向上していると評価できる。</p>
財務・労務面	<p>財務面について、経過勘定処理の適正化などの努力がなされている。また指定管理者である株式会社読売・日本テレビ文化センターは、収益性、成長性、安定性、活動性・健全性等が良好であり、計画外の支出抑制に向けて予算制度の一層の向上が図られるとなおよい。</p> <p>また労務面については、雇用契約条件・実施内容、健康診断受診状況等、法令に基づいた運用を適正に行っている。</p>
総合評価	<p>サービス面、財務・労務面ともに良好であり、指定管理業務は適正であったと評価できる。また、昨年と比較して、接遇の改善や事業内容の工夫がなされ、適正な運営が行われている。</p>

担当所管部	
部	地域文化スポーツ部
課	生涯学習課

平成26年度 指定管理者実績評価結果表【B施設】

施設概要		
施設名	名称	荒川区立清里高原ロッジ・荒川区立清里高原少年自然の家
	所在地	山梨県北杜市高根町清里3545-5
指定管理者	名称	ニッコトラスト・東京パワーテクノロジープロジェクト
	所在地	東京都中央区日本橋堀留町2-4-3 新堀留ビル9階
施設開設年月日		昭和58年4月15日
現在の指定管理者による運営開始年月日		平成18年4月1日
指定期間		平成27年4月1日～平成30年3月31日
業務内容		<p>荒川区民、在勤在学者及びその家族、区立小中学校の移動教室等の利用者が、自然観察等を行えるように賄業務や宿泊業務等のサービス提供と、利用者が快適に過ごせるように清掃業務や機械設備等の保守点検等の施設維持を行う。</p> <p>【施設概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定員：ロッジ35人、少年自然の家200人 ・ロッジ：宿泊室12畳5室、9畳（ベッド）1室 研修室洋間55㎡、談話室、食堂、浴室 ・少年自然の家：宿泊室24.5畳10室、研修室24.5畳1室 リーダー室10畳2室・8畳2室、食堂、浴室、体育館 ・開設期間（平成26年度）：4月26日（土）～11月4日（火）
平成26年度の事業計画		
<ul style="list-style-type: none"> ・管理フロント業務（清里の気温や天気等リアルタイムの情報提供、利用者とのコミュニケーションの向上等）、賄業務（食事選択制の継続、特別料理の提供）、清掃業務、機械設備等の保守点検業務を適切に実施する。 ・施設周辺に小売店がないことから、施設利用者の利便性の確保及び利用者サービスの向上を図るため、清里高原ロッジ食堂内に、引き続き飲料やビール等の自動販売機を設置する。 ・広報活動（ホームページの定期更新、町屋駅への広報ポスターの掲載等）を実施する。 ・自主事業業務として、バスツアーを実施する。 		
平成26年度の事業実績		
<ul style="list-style-type: none"> ・管理フロント業務、賄業務、清掃業務、機械設備等の保守点検業務は、適切に実施することができた。施設利用者は、前年度と比べて一般利用で179人、学校利用で181人が増え、合計で360人の増加となった。 ・地産野菜のサラダバーや、朝食時の地元工場生産の牛乳等の飲料サービスなど、地域資源を活かしたおもてなしを実施できた。また、バスタオルや浴衣の浴用アメニティは、引き続き好評であった。 ・施設内に設置した、自然環境への啓発を趣旨とした展示物については、内容の充実を図った結果、子どもだけでなく大人にも興味・関心を持たせることができた。 ・一般区民を対象としたバスツアー（ハイキングツアー）は、応募数が催行人数に届かず中止となったが、シルバー大学の方々向けに企画したツアーを11月に実施することができ好評であった。 		

施設決算状況

年度		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度（予算）
収入	予算	75,991,280	77,328,000	77,760,000	77,220,000
	決算	75,215,785	75,986,918	77,346,032	
支出	予算	75,991,280	77,328,000	77,760,000	77,220,000
	決算	75,914,991	75,877,938	77,006,914	
収支	予算	0	0	0	0
	決算	-699,206	108,980	339,118	

（備考）

基本評価項目

評価項目	配点	評価		得点
		レベル	乗率	配点×乗率
区民サービス	70			52
施設利用等の満足度が高い	30	4	80%	24
防災計画に明示されている訓練等を行っている	20	4	80%	16
事故・苦情の再発防止に向けた取組を行っている	20	3	60%	12
施設の維持管理	30			20
快適に利用できるための施設管理がなされている	10	4	80%	8
業務遂行に必要な職員が配置されている	10	3	60%	6
研修計画に基づいた職員の受講がなされている	10	3	60%	6
合 計 (A)	100	-	-	72

評価内容＜区民サービス＞

施設利用等の満足度が高い	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者アンケートは営業期間中、学校利用者を除く一般利用者を対象に実施した。「良い」と回答した利用者の割合は、職員対応に関する項目については96.3%、施設衛生に関する項目については90.1%となり、全体として利用者の評価は高かった。 ・26年度は、シルバー大学の方々向けのツアーを提案し、実施することができ好評であった。
防災計画に明示されている訓練等を行っている	<ul style="list-style-type: none"> ・厨房からの出火を想定した初期消火や通報、誘導に関する訓練を計画どおり年2回実施し、各職員が、避難誘導や初期消火の手順等の確認を行った。
事故・苦情の再発防止に向けた取組を行っている	<ul style="list-style-type: none"> ・苦情やトラブルは区に迅速に報告し、区と協力して対応した。 ・移動教室等におけるアレルギー対応については、マニュアルに沿った確認の徹底を図るなど、事故防止に向けた取組が求められる。

評価内容<施設の維持管理>	
快適に利用できるための施設管理がなされている	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日常点検や保守点検を適切に行い、異常箇所については迅速に修繕を行っている。また、機械設備の点検業務等の委託業務は、報告書等で適切に実施していることを確認している。 ・ 26年度は、敷地内の雑木林の整備を行い、快適な施設環境整備を図った。
業務遂行に必要な職員が配置されている	<ul style="list-style-type: none"> ・ 通年開設の施設ではないため従業員の確保が課題である中、繁忙期には他の事業所からの応援体制を組んで対応している。 ・ 従業員については、3年以上継続勤務している者は、常勤6名のうち3名、非常勤7名のうち2名となっており、従業員の定着のための工夫が求められる。
研修計画に基づいた職員の受講がなされている	<ul style="list-style-type: none"> ・ 食中毒防止のための食品衛生講習を、年1回実施している。また、利用者の個人情報保護を徹底するための研修、災害時対応を目的とした危機管理講習等の受講などを実施している。

その他の評価項目

評価項目	配点	評価		得点
		レベル	乗率	配点×乗率
地域との協働内容	5	4	80%	4
自然学習への取組	5	3	60%	3
合 計 (A)	10	-	-	7

評価内容	
地域との協働内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地産野菜を使用したサラダバーを実施しているほか、地元工場が生産された牛乳等を提供している。26年度は、地域のシルバー人材センターを活用して敷地内の雑木林の整備を行った。
自然学習への取組	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自然に対する興味・関心を高めるため、清里周辺の自然環境や動植物についての展示物を施設内に設け、自然学習を促す取組を行っている。さらに多くの子どもたちが教育的視点で興味・関心を持てるよう、展示内容の充実を図るべきである。

改善すべき点等	
合計 (A+B)	79
総合評価	B

財務・労務評価表

評価項目		評価内容	評価	
収支状況・縮減努力	会計手続が適正である	決算書、科目別内訳表、事業報告書等が適正に作成されており、会計手続きは適切である。	A	S
	予算管理が適正である	収入の増加と自主事業の支出抑制により、過年度から大幅に収支差額が改善した。	S	
	経費縮減の努力が行われている	一部計画外の支出が見られたが、経費削減努力の結果、支出合計の実績額が予算額を下回った。	A	
法人決算	安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している	組織再編に伴う吸収合併等、経営合理化に向けた具体的な活動の進捗が見られ、今後営業収益が改善するなど財務力の強化が期待できる。	A	
労務	労働環境が適正である	雇用契約書、賃金台帳の一覧、36協定、健康診断の受診記録等を確認した結果、全ての項目が要件を満たしており、労務環境は適正である。	A	

総評

サービス面	<ul style="list-style-type: none"> ・ 開設から32年が経過して施設設備の劣化が進むなか、修繕や機械設備の保守点検等を適切に実施し、快適な施設づくりに努めている。また、開設前清掃や日常清掃の徹底、食事選択制の導入や地産食材の提供など、良好なサービスが提供されていると評価できる。 ・ 飲料の自動販売機や冷蔵庫の設置、浴用アメニティの提供など、利用者のニーズに合ったサービスを行っている。 ・ 26年度は、シルバー大学の方々向けのツアーを提案し、実施することができたことから、施設利用者の増加に向けた努力を評価できる。 ・ 学校利用における食物アレルギー対応については、一層の取組が求められる。
財務・労務面	<p>財務面について、指定管理者である株式会社ニッコトラストは経営合理化に向けた具体的な活動が進んでおり、さらに成長戦略への転換の意向が示されており、当該計画の着実な遂行により、財務力の改善を達成されたい。</p> <p>また労務面については、雇用契約条件・実施内容、健康診断受診状況等、法令に基づいた運用を適正に行っている。</p>
総合評価	<p>財務・労務面についてはともに良好である。サービス面については、よりきめ細かな対応が必要などところがあり、特に安全管理や区との連絡体制は改善を要する。なお、昨年と比較して、自主事業において実施内容が工夫されている。</p>

担当所管部	
部	地域文化スポーツ部
課	生涯学習課